

# 2022年度 業務実績報告書

2023年6月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

I 法人の概要

1 法人の現況

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況(2022年4月1日現在)

	氏名	役職
理事長	桑原 尚志	センター院長
副理事長	水野 雅臣	センター副院長兼事務局長
理事	野田 俊之	センター副院長
理事	飯田 真美	センター副院長
理事	河合 雅彦	センター副院長
理事	田口 路代	センター副院長兼看護部長
理事	森 秀樹	国立大学法人岐阜大学元学長
理事	石井 直子	学校法人岐阜学園理事長
監事	小森 正悟	弁護士(小森正悟法律事務所)
監事	山田 英貴	公認会計士・税理士(山田会計事務所)

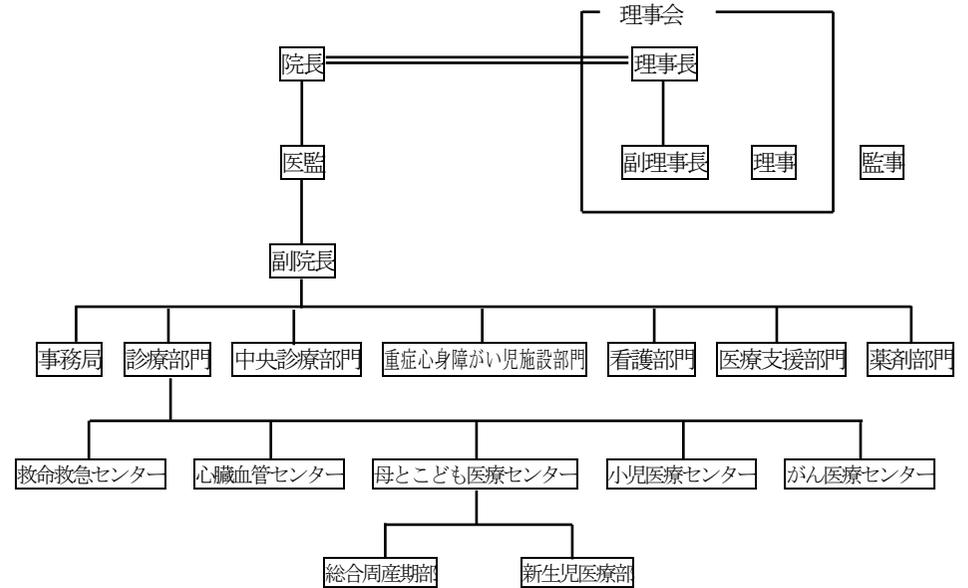
(5) 職員数(2022年4月1日現在)

単位:人

職種	常勤	非常勤	合計
医師	198	46	244
看護師等	771	86	857
コメディカル	283	9	292
事務等	80	230	310
合計	1,332	371	1,703

(6) 組織図

2022年4月1日現在



## 2 法人の基本的な目標

### (1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（以下「法人」という。）は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、岐阜圏域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成27年度から令和元年度までの第2期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営をしながらより質の高い医療サービスの提供に努め、高度先進医療機器の整備、重症心身障がい児施設「すこやか」の開設、経常収支比率100%の3年目からの達成など着実な成果をあげた。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第3期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第2期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、岐阜圏域はもとより、県全体の中核病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供、地域の医療機関への支援等により、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

### (2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院運営に努める。⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

## 3 設置する病院の概要

- (1) 病院名称 岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 沿革

年	月	概要
昭和28年	7月	岐阜県立岐阜病院として開院 (病床数130床)
昭和29年	10月	総合病院の承認を受ける (病床数259床)
昭和43年	2月	救急告示病院に指定
昭和45年	6月	特殊放射線棟新築
昭和47年	8月	東病棟新築 (病床数370床)
昭和49年	3月	厚生省臨床研修病院に指定
昭和58年	9月	西病棟新築 (病床数500床)
昭和58年	11月	救命救急センター開設
昭和63年	3月	中央診療・新生児センター棟新築 (病床数522床)
平成4年	2月	特殊放射線棟増築
平成4年	7月	病院医療総合情報システム導入
平成8年	8月	新生児センター3床増床 (病床数525床)
平成8年	12月	基幹災害拠点病院に指定
平成9年	4月	院外処方箋実施
平成9年	7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更 (病床数530床)
平成11年	8月	クリニカルパス導入
平成11年	11月	25床増床 (病床数555床)
平成13年	6月	病診連携室（平成14年4月より病診連携部へ改組）設置
		開放型病床（12床）開設 (平成14年1月より27床)
平成14年	3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.3.1）の認定取得
平成14年	4月	女性専用外来開設
平成14年	10月	医療安全部開設
平成16年	4月	新医師臨床研修病院に指定
平成17年	1月	地域がん診療連携拠点病院に指定
平成18年	11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更 (病床数590床)
		岐阜県立病院医療総合情報システム（電子カルテ）導入
平成19年	4月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver.5.0）の認定取得
平成19年	8月	岐阜DMAT指定病院に指定（DMAT：災害派遣医療チームの略）
平成19年	9月	7対1看護体制を取得

平成 20 年	2 月	総合周産期母子医療センターに指定	理念	県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。
平成 20 年	9 月	地域医療支援病院に指定	主な役割及び機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度で先進的な急性期医療センター機能</li> <li>救命救急センターを設置する第三次救急医療施設</li> <li>基幹災害拠点病院及びDMAT 指定病院</li> <li>地域がん診療連携拠点病院</li> <li>総合周産期母子医療センター</li> <li>小児救急医療拠点病院</li> <li>地域医療支援病院</li> <li>へき地医療拠点病院</li> <li>エイズ診療拠点病院</li> <li>臨床研修指定病院</li> </ul>
平成 21 年	4 月	DPC（入院包括診療報酬制度）対象病院に指定	重点医療	5つの重点医療と5つのセンターによる高度先進医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療（救命救急センター）</li> <li>心血管疾患医療（心臓血管センター）</li> <li>周産期医療（母とこども医療センター）</li> <li>がん医療（がん医療センター）</li> <li>こども医療（小児医療センター）</li> </ul>
平成 22 年	1 月	情報交流棟・管理棟改修工事完成	診療科目	内科/総合診療科/膠原病科/臨床栄養科/東洋医学科/腎臓内科/血液内科/糖尿病・内分泌内科/感染症内科/精神科/脳神経内科/呼吸器内科/呼吸器内視鏡科/消化器内科/消化器内視鏡科/胆膵内科/肝臓内科/循環器内科/高血圧科/不整脈科/心血管カテーテル治療科/睡眠時無呼吸科/成人先天性心疾患診療科/小児科/小児感染症内科/小児腎臓内科/小児療育内科/小児循環器内科/新生児内科/外科/内視鏡外科/肝胆膵外科/緩和医療科/消化器外科/乳腺外科/整形外科/脊椎脊髄外科/形成外科/脳神経外科/脳血管内治療科/呼吸器外科/心臓血管外科/胸部外科/小児外科/小児脳神経外科/小児心臓外科/皮膚科/泌尿器科/泌尿器内視鏡科/前立腺治療科/産科/胎児診療科/成育医療科/婦人科/眼科/耳鼻咽喉科・頭頸部外科/リハビリテーション科/心臓リハビリテーション科/放射線科/放射線診断科/放射線治療科/消化器画像診断科/核医学診断科/歯科口腔外科/口腔腫瘍科/麻酔科/小児麻酔科/産科麻酔科/ペインクリニック科/病理診断科/遺伝子病理診断科/臨床検査科/救急科/脳卒中治療科/小児救急科/遺伝子診療科(75科目) (2022年4月1日現在)
平成 22 年	4 月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行	病床数	一般病床 620 床 (2022年4月1日現在)
平成 23 年	4 月	患者駐車場 500 台の整備	年間延べ患者数 (2022年度実績)	入院 178,114 人 外来 345,196 人
平成 24 年	3 月	DPC 医療機関群Ⅱ群（現：特定病院群）の適用		
平成 24 年	4 月	へき地医療拠点病院の指定		
平成 24 年	5 月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価 (Ver. 6.0) の認定取得		
平成 25 年	4 月	PICU（小児集中治療室）2床稼働		
平成 25 年	7 月	ハイブリッド手術室新設		
平成 26 年	10 月	PICU（小児集中治療室）4床稼働		
平成 27 年	7 月	PICU（小児集中治療室）6床稼働		
平成 28 年	2 月	重症心身障がい児病棟(小児医療センター)完成 (病床数 604 床)		
平成 28 年	3 月	重症心身障がい児施設「すこやか」運営開始		
平成 28 年	10 月	新生児医療センター改修工事完成		
平成 29 年	4 月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価 (3rdG:Ver. 1.1) の認定取得		
		日本小児総合医療施設協議会に入会		
平成 29 年	10 月	救命救急センター改修工事完成(S-ICU:0床→8床、救命救急:26床→22床、ICU:4床→0床)		
平成 30 年	10 月	5階東西病棟再編 (5階東:54床→40床、5階西:16床→30床)		
平成 30 年	12 月	9階西病棟に感染症専用病床 (2床) 設置		
令和元年	9 月	重症心身障がい児施設「すこやか」4階 (16床) 稼働 (病床数 620 床)		
令和 2 年	6 月	「事件現場医療派遣チーム (IMAT)」の運用に関する協定締結		
令和 2 年	7 月	総合サポートセンター運用開始		
		NICU (新生児集中治療室) 増床 (12床→15床)		
令和 2 年	8 月	看護師特定行為研修指定研修機関認定		
令和 5 年	1 月	医療総合情報システム (電子カルテ) を全面更新		
	3 月	(公財)日本医療機能評価機構による病院機能評価 (3rdG:Ver. 2.0) の認定取得		

## Ⅱ 全体的な状況

### 1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

#### 1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜圏域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救急医療」、「心血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」、「こども医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする5つのセンターを柱として、地域の基幹病院として急性期医療及び政策医療等を提供した。

高度医療機器については、先進的な医療の提供と質の向上を図るため、稼働状況・費用対効果を勘案しながら、計画的な更新・整備を進めた。

また、当センターの医療を支える優秀な医師・看護師・コメディカル等の医療スタッフを確保するため、特定行為看護師の育成を含め、地方独立行政法人化のメリットを活かして柔軟に必要な職員の採用を行った。

職員の質の向上については、各種職種における資格取得をはじめ、学会や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。また、異なる職種が連携・協働し、それぞれの専門性を発揮するため、チーム医療を推進した。

入院支援の充実としては、入院支援から退院支援への情報共有を図り、患者に継続した支援が実施できるよう設置した「総合サポートセンター」の対象診療科をさらに拡大した。

患者・住民サービスについては、中央検査部門において第2採血室を継続する等、従来からの取り組みを継続することで、待ち時間の短縮を図った。また、「提案箱」に投函された患者からの意見を毎日回収し、迅速に対応するとともに、その内容を院内に掲示した。

地域住民・団体に対しては、「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し、意見交換を実施した。また、患者満足度調査を実施し、その結果を業務改善につなげるとともにホームページで公表した。

診療体制の充実については、より高度で質の高い医療を提供するため、口腔腫瘍科や脳腫瘍治療科、超音波検査部を設置した。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化することで紹介率67.2%、逆紹介率107.9%を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核的な機能を果たした。また、地域の医療機関や介護・福祉施設と連携し、積極的な退院調整や情報共有を行った。

#### 1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に取り組むとともに、県立看護大学や千葉大学との共同研究を継続した。

また、診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを使用して13診療科の分析を行った。院内の分析チームによる分析ツールを利用した解析やコンサルタントの活用により、当センターの診療内容を他院のデータと比較することで、各診療科の医師に改善を促し、その改善状況を定量的に評価した。

#### 1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内に医師を派遣した。医師の卒後臨床研修等の充実については、岐阜大学病院との連携を密にしながら当センター独自の

研修プログラムを企画、実施したことで、初期臨床研修医31人、専攻医40人を確保することができた。

また、専門医療機関から基幹病院として認定された内科、小児科、整形外科において、その役割（研修プログラムの作成と運用）を果たした。

学生の実習については、感染防止に配慮した上で可能な限り、医学生、看護学生、コメディカルの学生の他、救命救急士等の実習を受け入れた。

#### 1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度医療機器の共同利用や共同診療を推進した。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県立下呂温泉病院、高山赤十字病院、郡上市市民病院等に対する人的支援を継続したほか、岐阜県へき地医療支援機構からの代診要請に対して派遣を行いました。

その他にも、講師派遣など、社会的な要請に対しても、随時協力を行い、法人が有する人材や知見を提供した。

「からだどころにやさしい医療」をテーマとした5つのセミナーや皮膚疾患や小児アレルギー、胃がんや循環器疾患の公開講座をライブ形式でWEB配信した。また、既存のホームページを通じた情報提供、広報誌「けんこう」や地域医療連携誌「れんけい」の発行に加え、新たな広報誌「つなぐ」を発行するとともに、コロナ禍における広報戦略として地域の情報ネットワーク構築に向けた取組みを継続した。

#### 1-5 災害等発生時における医療救護

基幹災害拠点病院として、毎年実施している災害対策訓練はCOVID-19の影響により実施できなかったが、代替として災害に関するWEB講習会を実施した。COVID-19に対しては対策本部を中心として、簡易陰圧室を備えた専用病棟の確保や拡大、発熱外来の継続、ワクチン接種会場の提供等、行政機関と協力して積極的に対応した。また、感染対策部による指導やゾーニングの徹底、患者や職員に感染者が発生した際の迅速な対応等により、院内感染を最小限に抑えることができた。

#### 1-6 重症心身障がい児の入所施設の運営

「重症心身障がい児施設 すこやか」において、濃厚な医療的ケアが必要な重症心身障がい児の長期入所の受入及び療育・生活支援を実施するとともに、レスパイトケアのために短期入所の受け入れを実施した。また、在宅療養の増加を踏まえ、ニーズに応じて短期入所の定員を3人から4人に増やした。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組みについては、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

### 2-1 効率的な業務運営体制の確立

電子カルテシステム更新に合わせてAI（人工知能）やRPA（ロボットによる業務自動化）を導入するとともに、専門的スキルを必要とする業務について引き続きアウトソーシングを継続した。

医師の業務負担軽減に向けたタスク・シフトを進めるため、医師事務作業補助者の定着に向けた処遇改善や人員配置のバックアップ体制を整えた。

### 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善

収入の確保について、診療報酬改定により入院の診療単価は増加したが、COVID-19による入院制限等により患者数が再び減少したことにより、入院診療額は対前年度比9.9%、外来診療額は前年度に引き続き患者数が増加したことにより対前年度比103%となった。

未収金への対応については、その発生防止対策として、入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施した。発生した未収金については、適切に把握し督促等を実施するとともに、回収困難な未収金については、弁護士法人に委託する等厳格な対応を行った。

一方、費用の削減については、委託契約の見直しや医療機器及び診療材料におけるベンチマークを活用した価格交渉、経費圧縮等に関するアドバイザーを活用した医薬品等の購入方法の見直しにより、コスト削減を図るとともに、適正で効率的な在庫管理の徹底や後発医薬品の計画的な採用等による費用の削減を図った。

## 3 予算、収支計画及び資金計画

### 3-1 決算（2022年度）

収入については、昨年度に比較して営業収益で約2億5千万円の増額、資本収入で約1億5千万円の増額となり、収入全体で約29.5億8千万円と約1.6億6千万円の増額となった。（年度計画に対しては約1.0億3千万円の増額）

一方、支出については、昨年度に比較して営業費用で約9億4千万円の増額、資本支出で約4.6億4千万円の増額となり、支出全体で約32.0億1千万円と約5.4億3千万円の増額となった。（年度計画に対しては約8億4千万円の増額）

この結果、約2.4億3千万円の支出超過となった。（年度計画では約2.6億2千万円の支出超過）

### 3-2 収支計画に対する実績（2022年度）

収益の部については、昨年度に比較して営業収益で約3億7千万円の増額となり、収益の部全体で約27.3億6千万円と約2.9億9千万円の増額となった。（年度計画に対しては約3.9億9千万円の減額）

一方、費用の部については、昨年度に比較して営業費用で約9億7千万円の増額、営業外費用で約4億5千万円の増額となり、費用の部全体で約27.6億8千万円と約1.3億3千万円の増額となった。（年度計画に対しては約3千万円の減額）

この結果、約3億2千万円の純損失となった。（年度計画では約3千万円の純利益）

### 3-3 資金計画に対する実績（2022年度）

資金収入については、昨年度に比較して業務活動における収入で約8億4千万円の増額、投資活動による収入で約2億円の減額、財務活動による収入で約1.4億5千万円の増額となった。

一方、資金支出については、昨年度に比較して業務活動における支出で約9億3千万円の増額、投資活動による支出で約3.6億1千万円の増額、財務活動による支出はほぼ同額となった。

この結果、資金収入全体及び資金支出全体で約3.57億5千万円と約3.7億1千万円の増額となり（年度計画に対しては約2.0億7千万円の増額）、次年度繰越金が約5.4億2千万円となった。（年度計画では約2.5億円）

### <目標とする経営指標>

経常収支比率（経常収益／経常費用）が98.8%、医業収支比率（営業収益／営業費用）が106.1%、人件費比率（給与費／医業収益）が51.7%と、年度計画の目標は医業収支比率のみの達成となった。

### ○経営指標比較

単位：%

項目／年度	2020 実績	2021 実績	2022 実績	中期計画
経常収支比率	97.8	102.8	98.8	100
医業収支比率 ※1	103.0	108.3	106.1	100
人件費比率 ※1	54.2	49.6	51.7	50

※1 重症心身障がい児施設を除く

## 4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

働き方改革の実現に向けた取組みとして、医師の業務については、業務と自己研さんの区分を明確にするとともに、医療支援部門との間で可能なタスク・シフト（シェア）を推進した。さらに、職員のモチベーション向上に資する取組みとして、人事評価制度の目標評価における成績優秀者に対して手当に反映した。

施設・医療機器の整備については、医療需要や費用対効果などを総合的に判断し必要な医療機器の更新を行うとともに、策定した更新計画に基づき老朽化した本館の機械及び電気設備を計画的に更新した。また、リニアック更新に伴う南棟の工事を着実に推進した。

内部統制の充実強化では、リスク管理の一環として、各部署が洗い出しを行ったリスク事象への対応について、引き続き検討を行った。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	IV	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	IV	
1-1-3 診療体制の充実	03	IV	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	III	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	IV	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	III	
1-2-2 診療情報等の活用	07	IV	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	III	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	III	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	III	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	III	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	IV	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	IV	
1-5-2 他県等の医療救護への協力	14	III	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	15	IV	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	16	IV	
1-6 重症心身障がい児の入所施設の運営			
1-6-1 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の充実	17	III	
1-6-2 在宅医療支援体制の充実	18	IV	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	19	III	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	20	IV	
2-1-3 人事評価システムの運用	21	IV	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	22	IV	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	23	IV	
2-1-6 適切な情報管理	24	III	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	25	IV	
2-2-2 収入の確保	26	IV	
2-2-3 費用の削減	27	IV	
3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画	28	III	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の勤務環境の向上	29	IV	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	30	III	
8-3 施設・医療機器の整備	31	III	
8-4 内部統制の充実強化	32	III	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	33	III	

#### IV 財務情報及び人員に関する情報

指標	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
経常収益(千円)	24,119,430	25,194,017	24,797,753	26,930,947	27,302,120
経常費用(千円)	24,024,412	25,257,725	25,346,964	26,209,332	27,626,670
経常利益(千円)	95,018	▲63,707	▲549,211	721,615	▲325,550
従事人員数(年度当初)	1,454	1,538	1,600	1,640	1,703

#### V 項目別の状況

主な指標 (1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組)								
項目	指標	達成目標(中期目標・中期計画)		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
			(参考)前中期目標最終年度値					
1-1	患者満足度(外来)	80%以上	82.2%	85.8%	81.9%	83.2%		
	患者満足度(入院)	90%以上	95.1%	91.5%	93.9%	91.2%		
	紹介率	75%以上	77.3%	70.0%	71.9%	67.2%		
	逆紹介率	95%以上	96.2%	97.6%	110.5%	107.9%		
主な指標 (2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組)								
項目	指標	達成目標(中期目標・中期計画)		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
			(参考)前中期目標最終年度値					
2-2	病床利用率	87%以上	86.7%	76.6%	81.4%	78.7%		
	後発医薬品使用率	85%以上	86.1%	87.7%	87.8%	87.7%		
主な指標 (3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画)								
	指標	達成目標(中期目標・中期計画)		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
			(参考)前中期目標最終年度値					
	経常収支比率	100%以上	99.7%	97.8%	102.8%	98.8%		
	医業収支比率	100%以上	104.5%	103.0%	108.3%	106.1%		
	職員給与費対医業収益比率	50%以下	48.4%	54.2%	49.6%	51.7%		

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期 目標	<p>1-1 診療事業 岐阜圏域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度急性期医療、急性期医療、先進医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、チーム医療に貢献できる専門性を持った医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入退院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）などの活用を努めること。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページなどを通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやICT（情報通信技術）の活用などにより地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて岐阜圏域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、地域医療支援病院として、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。 さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 高度急性期医療、急性期医療、先進医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。 特に、「救急医療」、「心血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」及び「こども医療」を重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。 周産期医療については、未熟児や重症妊産婦に対する高度な医療の提供等、総合周産期母子医療センターとしての機能を強化するとともに、胎児診断や胎児治療を実施すること。 がん医療については、高精度放射線治療装置の更新・拡充に加え、患者の就労支援等の充実により、拠点病院としての機能を強化すること。 また、こども医療については、小児救命救急センターの設置に向け、他病院との連携を強化し、必要な症例を確保するとともに、診療科を問わず全ての重篤な小児患者に対する救急医療の提供をすなど、拠点としての機能の一層の充実を図ること。 なお、ゲノム医療については、がんゲノム医療中核拠点病院である名古屋大学医学部附属病院を中心に地域の医療機関と協力しつつ、適切な医療体制を構築すること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
01	<p>※ より質の高い医療の提供</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p>	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・看護師の確保については、年度途中の退職者を見込み年度当初に79人、年度途中2人採用することで、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、診療報酬の要</p>	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から高度医療機器を整備し、先進的な医療の提供と質の向上を図った。</p>	IV	医師、看護師の確保や看護師の資格取得体制及び入退院支援業務の充実に加え、その他の

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																										
2	医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保	件である7:1看護体制を上回る体制を確保できた。 ・定年退職した医師を再雇用することで、人員の確保に努めた。	<p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>金額</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット</td> <td>291,360千円</td> <td>内視鏡手術を支援するシステム</td> </tr> <tr> <td>前立腺ナビゲーションシステム</td> <td>42,500千円</td> <td>前立腺生検で使用するナビゲーションシステム</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3千万円以上の高額機器(税抜)</p> <p>○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名/年度</th> <th>年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>磁気共鳴診断装置(2020.7稼働)</td> <td>2020</td> <td>3,879</td> <td>5,765</td> <td>5,981</td> </tr> <tr> <td>手術部門・重症部門患者情報システム(2021.2稼働)</td> <td>2020</td> <td>常時</td> <td>常時</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>全身用X線CT装置(2021.2稼働)</td> <td>2020</td> <td>2,087</td> <td>12,677</td> <td>12,935</td> </tr> <tr> <td>泌尿器X線透視装置(2021.2稼働)</td> <td>2020</td> <td>102</td> <td>662</td> <td>711</td> </tr> <tr> <td>AI搭載型3D画像処理装置(2021.2稼働)</td> <td>2020</td> <td>129</td> <td>2,165</td> <td>3,145</td> </tr> <tr> <td>乳房用X線撮影装置(2022.3稼働)</td> <td>2021</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>3,156</td> </tr> <tr> <td>重症系生体情報モニター(2022.3稼働)</td> <td>2021</td> <td>—</td> <td>常時</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>人工透析装置システム(2022.3稼働)</td> <td>2021</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>常時</td> </tr> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット</td> <td>2022</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	金額	整備目的・用途等	内視鏡手術支援ロボット	291,360千円	内視鏡手術を支援するシステム	前立腺ナビゲーションシステム	42,500千円	前立腺生検で使用するナビゲーションシステム	機器名/年度	年度	2020	2021	2022	磁気共鳴診断装置(2020.7稼働)	2020	3,879	5,765	5,981	手術部門・重症部門患者情報システム(2021.2稼働)	2020	常時	常時	常時	全身用X線CT装置(2021.2稼働)	2020	2,087	12,677	12,935	泌尿器X線透視装置(2021.2稼働)	2020	102	662	711	AI搭載型3D画像処理装置(2021.2稼働)	2020	129	2,165	3,145	乳房用X線撮影装置(2022.3稼働)	2021	—	0	3,156	重症系生体情報モニター(2022.3稼働)	2021	—	常時	常時	人工透析装置システム(2022.3稼働)	2021	—	0	常時	内視鏡手術支援ロボット	2022	—	—	49	<p>項目も継続的な取組ができており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>
機器名等	金額	整備目的・用途等																																																													
内視鏡手術支援ロボット	291,360千円	内視鏡手術を支援するシステム																																																													
前立腺ナビゲーションシステム	42,500千円	前立腺生検で使用するナビゲーションシステム																																																													
機器名/年度	年度	2020		2021	2022																																																										
磁気共鳴診断装置(2020.7稼働)	2020	3,879		5,765	5,981																																																										
手術部門・重症部門患者情報システム(2021.2稼働)	2020	常時		常時	常時																																																										
全身用X線CT装置(2021.2稼働)	2020	2,087		12,677	12,935																																																										
泌尿器X線透視装置(2021.2稼働)	2020	102		662	711																																																										
AI搭載型3D画像処理装置(2021.2稼働)	2020	129	2,165	3,145																																																											
乳房用X線撮影装置(2022.3稼働)	2021	—	0	3,156																																																											
重症系生体情報モニター(2022.3稼働)	2021	—	常時	常時																																																											
人工透析装置システム(2022.3稼働)	2021	—	0	常時																																																											
内視鏡手術支援ロボット	2022	—	—	49																																																											
3	医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実	○医療従事者の確保状況 単位:人																																																													
4	高度先端医療の推進	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>182</td> <td>185</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>うち再雇用医師</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>691</td> <td>720</td> <td>719</td> </tr> <tr> <td>常勤コメディカル数</td> <td>254</td> <td>265</td> <td>278</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>55</td> <td>61</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>看護補助職員</td> <td>96</td> <td>95</td> <td>93</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年度末現在</p>	項目/年度	2020	2021	2022	常勤医師数	182	185	188	うち再雇用医師	7	7	7	常勤歯科医師数	4	4	4	常勤看護師数	691	720	719	常勤コメディカル数	254	265	278	医療クラーク	55	61	55	看護補助職員	96	95	93																													
項目/年度	2020	2021	2022																																																												
常勤医師数	182	185	188																																																												
うち再雇用医師	7	7	7																																																												
常勤歯科医師数	4	4	4																																																												
常勤看護師数	691	720	719																																																												
常勤コメディカル数	254	265	278																																																												
医療クラーク	55	61	55																																																												
看護補助職員	96	95	93																																																												
5	専門性を発揮したチーム医療の推進	○医師の研修派遣・受入実績 単位:件																																																													
6	ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)等の活用	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>受入</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	派遣	2	1	2	受入	3	3	0																																																	
項目/年度	2020	2021	2022																																																												
派遣	2	1	2																																																												
受入	3	3	0																																																												
7	入退院支援の充実	○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 単位:件																																																													
8	医療事故防止等医療安全対策の充実	<table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>563</td> <td>730</td> <td>817</td> </tr> </tbody> </table>	2020	2021	2022	563	730	817																																																							
2020	2021	2022																																																													
563	730	817																																																													
9	院内感染防止対策の充実	<p>3 医師、看護師、コメディカル等の人材育成の充実</p> <p><b>【医師】</b></p> <p>・高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図った。</p> <p><b>【看護師】</b></p> <p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保した。また、看護師特定行為研修指定研修機関として、当センターの看護師に加え、外部の看護師も受け入れる等、特定行為看護師を育成する役割を果たした。</p>																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己評価	自己評価理由																																																																																																																																																																																								
		<p>○認定看護師等資格取得者在籍状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>認定</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>がん化学療法</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>がん性疼痛</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>感染管理</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>救急看護</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>小児救急</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>摂食・嚥下障害</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>皮膚・排泄ケア</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>新生児集中ケア</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>集中ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>糖尿病看護</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>がん放射線療法看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>乳がん看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>認定看護管理者</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>慢性心不全</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>認知症</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>脳卒中リハビリテーション</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>手術看護</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>精神科看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>31</td><td>32</td><td>33</td></tr> <tr><td>専門</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>小児看護</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>がん看護</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>3</td><td>3</td><td>2</td></tr> <tr><td>特定行為</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>創傷管理モデル</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>術中麻酔管理モデル</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>外科術後管理領域</td><td>0</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>計</td><td>3</td><td>6</td><td>11</td></tr> <tr><td>認定遺伝カウンセラー</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>37</td><td>42</td><td>47</td></tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	認定				がん化学療法	3	3	3	がん性疼痛	2	2	2	感染管理	3	3	4	救急看護	2	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	2	皮膚・排泄ケア	3	3	2	新生児集中ケア	2	1	2	集中ケア	2	2	2	糖尿病看護	1	1	0	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	認定看護管理者	2	3	3	慢性心不全	1	1	1	緩和ケア	1	1	1	認知症	2	2	2	脳卒中リハビリテーション	1	1	1	手術看護	1	2	2	精神科看護	1	1	1	計	31	32	33	専門				小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	0	計	3	3	2	特定行為				創傷管理モデル	1	1	1	術中麻酔管理モデル	2	3	4	外科術後管理領域	0	2	6	計	3	6	11	認定遺伝カウンセラー	0	1	1	合計	37	42	47	<p>(2022.12稼働)</p> <p>8 医療事故防止等医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療安全対策として、必要に応じてマニュアルの見直しを行うとともに、その遵守状況を把握し、マニュアルの運用遵守を徹底した。</li> <li>医療事故調査に当たっては、重大事故のみならず、すべての死亡例について医療安全部で検討し、必要があれば担当医等にヒアリングを実施している。</li> <li>岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会に参加し、医療事故の現状把握と関係機関との情報共有を行った。</li> <li>発生したインシデント・アクシデント事案については、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議や医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。特に、重大事例につながる事案については、発生原因を明らかにし、再発防止とリスクを回避する方策を検討した。</li> </ul> <p>○インシデント・アクシデント報告数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>レベル0</td><td>754</td><td>830</td><td>646</td></tr> <tr><td>レベル1</td><td>2,294</td><td>2,500</td><td>2,053</td></tr> <tr><td>レベル2</td><td>504</td><td>542</td><td>484</td></tr> <tr><td>レベル3 a</td><td>276</td><td>299</td><td>253</td></tr> <tr><td>小計 (インシデント)</td><td>3,828</td><td>4,171</td><td>3,436</td></tr> <tr><td>レベル3 b</td><td>87</td><td>112</td><td>83</td></tr> <tr><td>レベル4</td><td>2</td><td>4</td><td>1</td></tr> <tr><td>レベル5</td><td>5</td><td>6</td><td>2</td></tr> <tr><td>その他(合併症等)</td><td>9</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>小計 (アクシデント)</td><td>103</td><td>123</td><td>89</td></tr> <tr><td>合計</td><td>3,931</td><td>4,294</td><td>3,525</td></tr> <tr><td>合計 (医師のみ)</td><td>178</td><td>218</td><td>150</td></tr> </tbody> </table> <p>・医療安全研修会は今年度も感染防止の観点からオンデマンドでの実施を継続し、多数の参加を得た。</p>				項目/年度	2020	2021	2022	レベル0	754	830	646	レベル1	2,294	2,500	2,053	レベル2	504	542	484	レベル3 a	276	299	253	小計 (インシデント)	3,828	4,171	3,436	レベル3 b	87	112	83	レベル4	2	4	1	レベル5	5	6	2	その他(合併症等)	9	1	3	小計 (アクシデント)	103	123	89	合計	3,931	4,294	3,525	合計 (医師のみ)	178	218	150		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																																																																																													
認定																																																																																																																																																																																																
がん化学療法	3	3	3																																																																																																																																																																																													
がん性疼痛	2	2	2																																																																																																																																																																																													
感染管理	3	3	4																																																																																																																																																																																													
救急看護	2	2	2																																																																																																																																																																																													
小児救急	1	1	1																																																																																																																																																																																													
摂食・嚥下障害	1	1	2																																																																																																																																																																																													
皮膚・排泄ケア	3	3	2																																																																																																																																																																																													
新生児集中ケア	2	1	2																																																																																																																																																																																													
集中ケア	2	2	2																																																																																																																																																																																													
糖尿病看護	1	1	0																																																																																																																																																																																													
がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																																																																																																																													
乳がん看護	1	1	1																																																																																																																																																																																													
認定看護管理者	2	3	3																																																																																																																																																																																													
慢性心不全	1	1	1																																																																																																																																																																																													
緩和ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																													
認知症	2	2	2																																																																																																																																																																																													
脳卒中リハビリテーション	1	1	1																																																																																																																																																																																													
手術看護	1	2	2																																																																																																																																																																																													
精神科看護	1	1	1																																																																																																																																																																																													
計	31	32	33																																																																																																																																																																																													
専門																																																																																																																																																																																																
小児看護	2	2	2																																																																																																																																																																																													
がん看護	1	1	0																																																																																																																																																																																													
計	3	3	2																																																																																																																																																																																													
特定行為																																																																																																																																																																																																
創傷管理モデル	1	1	1																																																																																																																																																																																													
術中麻酔管理モデル	2	3	4																																																																																																																																																																																													
外科術後管理領域	0	2	6																																																																																																																																																																																													
計	3	6	11																																																																																																																																																																																													
認定遺伝カウンセラー	0	1	1																																																																																																																																																																																													
合計	37	42	47																																																																																																																																																																																													
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																																																																																													
レベル0	754	830	646																																																																																																																																																																																													
レベル1	2,294	2,500	2,053																																																																																																																																																																																													
レベル2	504	542	484																																																																																																																																																																																													
レベル3 a	276	299	253																																																																																																																																																																																													
小計 (インシデント)	3,828	4,171	3,436																																																																																																																																																																																													
レベル3 b	87	112	83																																																																																																																																																																																													
レベル4	2	4	1																																																																																																																																																																																													
レベル5	5	6	2																																																																																																																																																																																													
その他(合併症等)	9	1	3																																																																																																																																																																																													
小計 (アクシデント)	103	123	89																																																																																																																																																																																													
合計	3,931	4,294	3,525																																																																																																																																																																																													
合計 (医師のみ)	178	218	150																																																																																																																																																																																													

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																						
		<p>○研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="3">内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">認定看護師</td> <td colspan="3">【長期】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">・クリティカルケア</td> </tr> <tr> <td colspan="3">【短期】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">単位：人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2020</td> <td>2021</td> <td>2022</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者 (1st)</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者 (2nd)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者 (3rd)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>医療安全研修</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>学会等参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本看護学会</li> <li>・日本看護協会研修</li> <li>・岐阜県看護協会研修</li> <li>・研修会、セミナー</li> <li>・その他 看護学会等</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>参加延べ数</td> <td>270</td> <td>224</td> <td>402</td> </tr> </tbody> </table> <p>【コメディカル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成した。</li> </ul> <p>○専門研修への参加状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>246</td> <td>298</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨床検査技師</td> <td>中央検査部</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>病理部</td> <td>20</td> <td>30</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容			認定看護師	【長期】			・クリティカルケア			【短期】			単位：人				2020	2021	2022	認定看護管理者 (1st)	0	4	2	認定看護管理者 (2nd)	0	1	3	認定看護管理者 (3rd)	0	1	0	医療安全研修	2	3	4		2020	2021	2022	参加延べ数	270	224	402	項目/年度	2020	2021	2022	薬剤師	246	298	300	臨床検査技師	中央検査部	32	37	100	病理部	20	30	38	臨床工学技士	4	9	12	<p>○医療安全研修会実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>2 テーマ</td> <td>3 テーマ</td> <td>3 テーマ</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>2,966 人</td> <td>4,987 人</td> <td>5,104 人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・また、医療安全に関するポスター掲示や毎月の医療安全標語により、さらなる安全意識の向上を図っている。</li> </ul> <p>9 院内感染防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週ICTラウンドを行い、全病棟ラウンドは2週に1回実施し、前週に改善して欲しいところを1つ指摘、後週で指摘事項が改善されたかを確認した。</li> <li>・感染制御支援システムを活用し、接触患者リストの作成や菌検出推移の把握を行うとともに、カテーテルなどのデバイス数をカウントし、各部署における感染率の経過を把握した。</li> <li>・感染症専門医やASTによる抗菌薬の適正指導や、手指消毒剤使用量が増加したが、新規MRSA検出数が2021年度172件から2022年度89件と48%減少した。</li> </ul> <p>○手指衛生とMRSA 状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手指消毒剤使用量 (単位：L/1,000 患者)</td> <td>45.1</td> <td>43.0</td> <td>39.2</td> </tr> <tr> <td>新規MRSA 検出数</td> <td>154</td> <td>172</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染防止研修会は今年度も感染防止の観点からオンデマンドでの実施を継続し、昨年度と同様に多数の参加を得た。</li> </ul> <p>○感染防止研修会実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>2 テーマ</td> <td>2 テーマ</td> <td>2 テーマ</td> </tr> <tr> <td>参加延べ人数</td> <td>2,976 人</td> <td>3,011 人</td> <td>2,996 人</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	実施回数	2 テーマ	3 テーマ	3 テーマ	参加延べ人数	2,966 人	4,987 人	5,104 人	項目/年度	2020	2021	2022	手指消毒剤使用量 (単位：L/1,000 患者)	45.1	43.0	39.2	新規MRSA 検出数	154	172	89	項目/年度	2020	2021	2022	実施回数	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ	参加延べ人数	2,976 人	3,011 人	2,996 人		
項目	内 容																																																																																																										
認定看護師	【長期】																																																																																																										
	・クリティカルケア																																																																																																										
	【短期】																																																																																																										
	単位：人																																																																																																										
		2020	2021	2022																																																																																																							
認定看護管理者 (1st)	0	4	2																																																																																																								
認定看護管理者 (2nd)	0	1	3																																																																																																								
認定看護管理者 (3rd)	0	1	0																																																																																																								
医療安全研修	2	3	4																																																																																																								
	2020	2021	2022																																																																																																								
参加延べ数	270	224	402																																																																																																								
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																								
薬剤師	246	298	300																																																																																																								
臨床検査技師	中央検査部	32	37	100																																																																																																							
	病理部	20	30	38																																																																																																							
臨床工学技士	4	9	12																																																																																																								
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																								
実施回数	2 テーマ	3 テーマ	3 テーマ																																																																																																								
参加延べ人数	2,966 人	4,987 人	5,104 人																																																																																																								
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																								
手指消毒剤使用量 (単位：L/1,000 患者)	45.1	43.0	39.2																																																																																																								
新規MRSA 検出数	154	172	89																																																																																																								
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																								
実施回数	2 テーマ	2 テーマ	2 テーマ																																																																																																								
参加延べ人数	2,976 人	3,011 人	2,996 人																																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																								
		<table border="1"> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>42</td> <td>31</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>52</td> <td>112</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>398</td> <td>520</td> <td>668</td> </tr> </table> <p>○主な専門研修・講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本放射線技術学会</li> <li>・全国自治体病院放射線部会研修会</li> <li>・日本放射線治療セミナー</li> <li>・日本核医学学術総会</li> <li>・日本磁気共鳴医学会</li> <li>・医学物理士ミニマム講習会</li> <li>・診療放射線技師実習施設指導者等養成講習会</li> <li>・業務拡大に伴う統一講習会</li> <li>・PET 研修セミナー</li> <li>・医療安全管理者養成研修会</li> <li>・画像等手術支援認定講習会</li> </ul> <p>※主な資格取得者数（年度末） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アドバンス診療放射線技師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>放射線被曝相談員</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>X線CT認定技師</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>放射線機器管理士</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>放射線管理士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>画像等手術支援認定診療放射線技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>第1種放射線取扱主任者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>救急撮影認定技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2022年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバンス診療放射線技師 2人</li> <li>・放射線被曝相談員 1人</li> <li>・X線CT認定技師 1人</li> </ul>	リハビリ技師	42	31	52	管理栄養士	2	3	5	放射線技師	52	112	161	合計	398	520	668	資格名/年度	2020	2021	2022	アドバンス診療放射線技師	3	3	5	放射線被曝相談員	1	1	2	X線CT認定技師	5	5	6	放射線機器管理士	3	5	10	放射線管理士	0	0	4	画像等手術支援認定診療放射線技師	0	0	2	検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	0	0	1	第1種放射線取扱主任者	0	0	1	救急撮影認定技師	0	0	1			
リハビリ技師	42	31	52																																																										
管理栄養士	2	3	5																																																										
放射線技師	52	112	161																																																										
合計	398	520	668																																																										
資格名/年度	2020	2021	2022																																																										
アドバンス診療放射線技師	3	3	5																																																										
放射線被曝相談員	1	1	2																																																										
X線CT認定技師	5	5	6																																																										
放射線機器管理士	3	5	10																																																										
放射線管理士	0	0	4																																																										
画像等手術支援認定診療放射線技師	0	0	2																																																										
検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	0	0	1																																																										
第1種放射線取扱主任者	0	0	1																																																										
救急撮影認定技師	0	0	1																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・放射線機器管理士 5人</li> <li>・放射線管理士 4人</li> <li>・画像等手術支援認定診療放射線技師 2人</li> <li>・検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師 1人</li> <li>・第1種放射線取扱主任者 1人</li> <li>・救急撮影認定技師 1人</li> </ul> <p>【中央検査部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床衛生検査技師会</li> <li>・日本超音波医学会</li> <li>・日本超音波検査学会</li> <li>・心臓リハビリテーション学会</li> <li>・日本臨床微生物学会</li> <li>・日本臨床検査医学会</li> <li>・日本輸血・細胞治療学会</li> <li>・日本心エコー図学会</li> <li>・日本検査血液学会</li> <li>・全国自治体病院学会</li> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定講習会</li> <li>・日本臨床栄養代謝学会</li> <li>・病院中堅職員育成研修</li> </ul> <p>※主な資格取得者数(年度末) 単位：人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超音波検査士(循環器)</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>超音波検査士(消化器)</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>超音波検査士(体表臓器)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>超音波検査士(泌尿器)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>超音波検査士(産婦人科)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>超音波検査士(血管)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>血管診療技師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定心電図専門士</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>緊急臨床検査士</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>認定血液検査技師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>認定微生物検査技師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	資格名/年度	2020	2021	2022	超音波検査士(循環器)	8	8	7	超音波検査士(消化器)	10	13	10	超音波検査士(体表臓器)	3	4	3	超音波検査士(泌尿器)	1	1	0	超音波検査士(産婦人科)	1	1	1	超音波検査士(血管)	1	1	1	血管診療技師	1	1	1	認定心電図専門士	5	5	3	緊急臨床検査士	10	10	12	認定血液検査技師	2	2	3	認定微生物検査技師	1	2	2			
資格名/年度	2020	2021	2022																																																		
超音波検査士(循環器)	8	8	7																																																		
超音波検査士(消化器)	10	13	10																																																		
超音波検査士(体表臓器)	3	4	3																																																		
超音波検査士(泌尿器)	1	1	0																																																		
超音波検査士(産婦人科)	1	1	1																																																		
超音波検査士(血管)	1	1	1																																																		
血管診療技師	1	1	1																																																		
認定心電図専門士	5	5	3																																																		
緊急臨床検査士	10	10	12																																																		
認定血液検査技師	2	2	3																																																		
認定微生物検査技師	1	2	2																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由																																																								
		<table border="1"> <tr> <td>心臓リハビリテーション指 導士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2級臨床検査士(微生物)</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>2級臨床検査士(循環器)</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>2級臨床検査士(免疫血清)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染制御認定微生物検査技 師(ICMT)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>医療安全管理者</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師臨地実習指導 者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>タスクシフト・シェアに関す る厚生労働大臣認定</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>POCT測定認定士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>※2022年度新規資格取得者(新規採用者も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急臨床検査士 2人</li> <li>・認定血液検査技師 1人</li> <li>・2級臨床検査士(微生物) 1人</li> <li>・2級臨床検査士(免疫血清) 1人</li> <li>・タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣認定 30人</li> <li>・POCT測定認定士 1人</li> </ul> <p>【病理部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床衛生検査技師会</li> <li>・日本臨床細胞学会</li> <li>・認定病理検査技師講習会</li> </ul> <p>※主な資格取得者数(年度末) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定病理検査技師</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>細胞検査士</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>二級臨床検査士(病理学)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>検体採取等の講習会修了者</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2022年度新規資格取得者(新規採用者も含む)</p> <p>【薬剤部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本医療薬学会年会</li> </ul>	心臓リハビリテーション指 導士	2	2	2	2級臨床検査士(微生物)	3	5	6	2級臨床検査士(循環器)	3	3	2	2級臨床検査士(免疫血清)	0	0	1	感染制御認定微生物検査技 師(ICMT)	1	2	2	医療安全管理者	1	2	1	臨床検査技師臨地実習指導 者	0	1	1	タスクシフト・シェアに関す る厚生労働大臣認定	0	0	30	POCT測定認定士	0	0	1	資格名/年度	2020	2021	2022	認定病理検査技師	3	6	6	細胞検査士	8	8	8	二級臨床検査士(病理学)	1	1	1	検体採取等の講習会修了者	6	6	6					
心臓リハビリテーション指 導士	2	2	2																																																												
2級臨床検査士(微生物)	3	5	6																																																												
2級臨床検査士(循環器)	3	3	2																																																												
2級臨床検査士(免疫血清)	0	0	1																																																												
感染制御認定微生物検査技 師(ICMT)	1	2	2																																																												
医療安全管理者	1	2	1																																																												
臨床検査技師臨地実習指導 者	0	1	1																																																												
タスクシフト・シェアに関す る厚生労働大臣認定	0	0	30																																																												
POCT測定認定士	0	0	1																																																												
資格名/年度	2020	2021	2022																																																												
認定病理検査技師	3	6	6																																																												
細胞検査士	8	8	8																																																												
二級臨床検査士(病理学)	1	1	1																																																												
検体採取等の講習会修了者	6	6	6																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会</li> <li>・全日本自治体病院学会</li> <li>・日本麻酔科学会 術後疼痛管理研修</li> <li>・岐阜県病院薬剤師会研修会</li> <li>・東海薬剤師学術大会</li> <li>・近畿薬剤師合同学術大会</li> <li>・日本小児臨床薬理学会</li> <li>・日本化学療法学会</li> <li>・日本臨床救急医学会</li> <li>・日本臨床腫瘍薬学会</li> <li>・日本緩和医療薬学会</li> <li>・医療情報学連合大会・日本医療情報学会</li> <li>・日本病院会医療安全管理者養成講習会</li> <li>・日本臨床救急医学会総会・学術集会</li> <li>・感染制御専門薬剤師講習会</li> <li>・日本医薬品情報学会</li> <li>・成育医療研修会（薬剤師コース）</li> <li>・認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ</li> <li>・医療薬学フォーラム/クリニカルファーマシーシンポジウム</li> <li>・妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師講習会</li> <li>・がん専門薬剤師集中教育講座</li> </ul> <p>※主な資格取得者数（年度末） <span style="float: right;">単位：人</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">資格名/年度</th> <th style="width: 10%;">2020</th> <th style="width: 10%;">2021</th> <th style="width: 10%;">2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染制御認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>抗菌化学療法認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>日病薬 病院薬学認定薬剤師</td> <td>21</td> <td>28</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>がん専門薬剤師</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>緩和薬物療法認定薬剤師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>日本糖尿病療養指導士</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>周術期管理チーム認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>外来がん治療認定薬剤師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>腎臓病薬物療法認定薬剤師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>腎臓病療養指導士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>小児薬物療法認定薬剤師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>救急認定薬剤師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	資格名/年度	2020	2021	2022	感染制御認定薬剤師	2	2	2	抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	3	日病薬 病院薬学認定薬剤師	21	28	27	がん専門薬剤師	2	3	3	緩和薬物療法認定薬剤師	1	1	2	日本糖尿病療養指導士	5	5	5	周術期管理チーム認定薬剤師	2	2	2	外来がん治療認定薬剤師	1	1	2	腎臓病薬物療法認定薬剤師	0	0	1	腎臓病療養指導士	2	2	2	小児薬物療法認定薬剤師	2	2	2	救急認定薬剤師	1	1	1			
資格名/年度	2020	2021	2022																																																						
感染制御認定薬剤師	2	2	2																																																						
抗菌化学療法認定薬剤師	2	2	3																																																						
日病薬 病院薬学認定薬剤師	21	28	27																																																						
がん専門薬剤師	2	3	3																																																						
緩和薬物療法認定薬剤師	1	1	2																																																						
日本糖尿病療養指導士	5	5	5																																																						
周術期管理チーム認定薬剤師	2	2	2																																																						
外来がん治療認定薬剤師	1	1	2																																																						
腎臓病薬物療法認定薬剤師	0	0	1																																																						
腎臓病療養指導士	2	2	2																																																						
小児薬物療法認定薬剤師	2	2	2																																																						
救急認定薬剤師	1	1	1																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																												
		<table border="1" data-bbox="539 252 1120 327"> <tr> <td>NST 専門療法士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>心不全療養指導士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>※2022年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・抗菌化学療法認定薬剤師 1人</li> <li>・緩和薬物療法認定薬剤師 1人</li> <li>・外来がん治療認定薬剤師 1人</li> <li>・腎臓病薬物療法認定薬剤師 1人</li> <li>・NST 専門療法士 1人</li> </ul> <p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本ハンドセラピー学会</li> <li>・日本理学療法学会</li> <li>・日本集中治療医学会</li> <li>・日本呼吸ケアリハビリテーション学会</li> <li>・日本心臓リハビリテーション学会</li> </ul> <p>※主な資格取得者数（年度末） 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="539 766 1097 1161"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3学会合同呼吸療法認定士</td> <td>25</td> <td>29</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション指導士</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>認定理学療法士</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>心不全療養指導士</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>日本糖尿病療養指導士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>LSVT®資格認定</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>公認心理師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2022年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3学会合同呼吸療法認定士 4人</li> <li>・心臓リハビリテーション指導士 1人</li> <li>・LSVT®資格認定 1人</li> <li>・公認心理師 1人</li> </ul> <p>【栄養部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国自治体病院学会</li> </ul>	NST 専門療法士	1	1	2	心不全療養指導士	1	1	1	資格名/年度	2020	2021	2022	3学会合同呼吸療法認定士	25	29	33	心臓リハビリテーション指導士	3	6	7	認定理学療法士	4	8	8	心不全療養指導士	1	4	4	日本糖尿病療養指導士	1	1	0	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	1	1	1	LSVT®資格認定	1	1	2	公認心理師	0	0	1			
NST 専門療法士	1	1	2																																														
心不全療養指導士	1	1	1																																														
資格名/年度	2020	2021	2022																																														
3学会合同呼吸療法認定士	25	29	33																																														
心臓リハビリテーション指導士	3	6	7																																														
認定理学療法士	4	8	8																																														
心不全療養指導士	1	4	4																																														
日本糖尿病療養指導士	1	1	0																																														
日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士	1	1	1																																														
LSVT®資格認定	1	1	2																																														
公認心理師	0	0	1																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県病院協会医学会</li> <li>・日本心臓リハビリ学会学術集会</li> <li>・日本臨床栄養代謝学会</li> <li>・日本病態栄養学会年次学術集会</li> <li>・がん専門管理栄養士セミナー</li> </ul> ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NST 専門療法士</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>糖尿病療養指導士</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>病態栄養専門管理栄養士</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>がん病態栄養専門管理栄養士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション指導士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アレルギー疾患療養指導士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> ※2022年度新規資格取得者（新規採用者も含む） ・NST 専門療法士 1人	資格名/年度	2020	2021	2022	NST 専門療法士	3	4	5	糖尿病療養指導士	5	5	5	病態栄養専門管理栄養士	4	4	4	がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2	心臓リハビリテーション指導士	1	1	1	アレルギー疾患療養指導士	0	2	2							
資格名/年度	2020	2021	2022																																		
NST 専門療法士	3	4	5																																		
糖尿病療養指導士	5	5	5																																		
病態栄養専門管理栄養士	4	4	4																																		
がん病態栄養専門管理栄養士	2	2	2																																		
心臓リハビリテーション指導士	1	1	1																																		
アレルギー疾患療養指導士	0	2	2																																		
		<b>【臨床工学部】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本臨床工学技士会</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会セミナー</li> <li>・岐阜県臨床工学技士会学術大会</li> <li>・医療機器安全基礎講習会（ME 技術講習会）</li> <li>・透析液安全管理責任者セミナー</li> <li>・日本人工臓器学会教育セミナー</li> </ul> ※主な資格取得者数（年度末） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格名/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体外循環技術認定士</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>透析技術認定士</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>呼吸療法認定士</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>不整脈治療関連専門臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定集中治療関連臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>植込み型心臓デバイス認定士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>心血管インターベンション技師</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	資格名/年度	2020	2021	2022	体外循環技術認定士	5	5	5	透析技術認定士	4	4	5	呼吸療法認定士	4	6	6	不整脈治療関連専門臨床工学技士	0	1	1	認定集中治療関連臨床工学技士	0	2	3	植込み型心臓デバイス認定士	0	1	1	心血管インターベンション技師	0	5	6			
資格名/年度	2020	2021	2022																																		
体外循環技術認定士	5	5	5																																		
透析技術認定士	4	4	5																																		
呼吸療法認定士	4	6	6																																		
不整脈治療関連専門臨床工学技士	0	1	1																																		
認定集中治療関連臨床工学技士	0	2	3																																		
植込み型心臓デバイス認定士	0	1	1																																		
心血管インターベンション技師	0	5	6																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
		<table border="1" data-bbox="517 248 1133 507"> <tr> <td>第一種ME技術者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>医療機器情報コミュニケーター (MDIC)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>認定ホスピタルエンジニア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>ICLS 認定インストラクター</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>AHA-BLS プロバイダーコース</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>AHA-ACLS プロバイダーコース</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>※2022年度新規資格取得者（新規採用者も含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体外循環技術認定士 1人</li> <li>・透析技術認定士 1人</li> <li>・認定集中治療関連臨床工学技士 1人</li> <li>・心血管インターベンション技師 1人</li> </ul> <p>4 高度先端医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度先端医療など新しい医療技術を実施するため、新たに下記の施設認定を取得した。</li> </ul> <p>&lt;施設認定名称&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遺伝性乳癌卵巣癌総合診療施設（協力施設）</li> <li>ペインクリニック専門医指定研修施設</li> <li>日本胃癌学会認定施設（B）</li> <li>日本心エコー学会認定心エコー専門医制度研修施設</li> <li>日本腎臓学会認定指導施設</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外科系学会社会保険委員会連合が指定した高難度手術（D、E 難度）や遺伝子検査を積極的に実施し、高度先端医療を推進した。</li> </ul> <p>○高度先端医療の実施状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="517 1190 1120 1302"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D, E 難度手術実施数</td> <td>4,850</td> <td>5,263</td> <td>5,149</td> </tr> <tr> <td>遺伝子検査実施数</td> <td>653</td> <td>767</td> <td>866</td> </tr> </tbody> </table> <p>※遺伝子検査：D006-2～20、D006-22～28 に該当する検査</p> <p>5 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの</li> </ul>	第一種ME技術者	0	1	1	医療機器情報コミュニケーター (MDIC)	1	2	2	認定ホスピタルエンジニア	1	1	1	ICLS 認定インストラクター	1	1	1	AHA-BLS プロバイダーコース	4	4	4	AHA-ACLS プロバイダーコース	4	4	4	項目／年度	2020	2021	2022	D, E 難度手術実施数	4,850	5,263	5,149	遺伝子検査実施数	653	767	866			
第一種ME技術者	0	1	1																																						
医療機器情報コミュニケーター (MDIC)	1	2	2																																						
認定ホスピタルエンジニア	1	1	1																																						
ICLS 認定インストラクター	1	1	1																																						
AHA-BLS プロバイダーコース	4	4	4																																						
AHA-ACLS プロバイダーコース	4	4	4																																						
項目／年度	2020	2021	2022																																						
D, E 難度手術実施数	4,850	5,263	5,149																																						
遺伝子検査実施数	653	767	866																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
		<p>専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。</p> <p>&lt;主な医療チーム&gt; ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NST、摂食嚥下チーム、認知症ケアチーム、AST、早期離床リハビリテーションチーム、心不全チーム、排尿自立ケアチーム</p> <p>○各種チーム加算算定数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="517 549 1117 804"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア診療加算</td> <td>1,221</td> <td>1,148</td> <td>1,406</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム加算</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>褥瘡/リソク患者ケア加算</td> <td>2,101</td> <td>2,545</td> <td>2,442</td> </tr> <tr> <td>栄養サポートチーム加算</td> <td>951</td> <td>988</td> <td>892</td> </tr> <tr> <td>認知症ケア加算</td> <td>1,176</td> <td>1,331</td> <td>1,292</td> </tr> <tr> <td>早期離床リハビリテーション加算</td> <td>999</td> <td>1,313</td> <td>1,347</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用 ・2017年度及び2018年度に整備した遠隔画像コンサルテーションシステムを積極的に活用し、準夜帯及び深夜帯の院内専門医不在時における画像コンサルテーションを、外部の放射線専門医に依頼することにより、安全かつ質の高い医療を提供した。2022年度は3,711件のCT・MRI検査画像のコンサルテーション依頼を行った。</p> <p>○救急の外部コンサルテーション依頼数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="517 1134 1003 1246"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>3,091</td> <td>3,271</td> <td>3,321</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>412</td> <td>372</td> <td>390</td> </tr> </tbody> </table> <p>・電子カルテシステム等の更新に合わせ、放射線画像AI診断システムを導入した。</p> <p>7 入退院支援の充実</p>	項目/年度	2020	2021	2022	緩和ケア診療加算	1,221	1,148	1,406	呼吸ケアチーム加算	16	26	7	褥瘡/リソク患者ケア加算	2,101	2,545	2,442	栄養サポートチーム加算	951	988	892	認知症ケア加算	1,176	1,331	1,292	早期離床リハビリテーション加算	999	1,313	1,347	項目/年度	2020	2021	2022	CT	3,091	3,271	3,321	MRI	412	372	390			
項目/年度	2020	2021	2022																																										
緩和ケア診療加算	1,221	1,148	1,406																																										
呼吸ケアチーム加算	16	26	7																																										
褥瘡/リソク患者ケア加算	2,101	2,545	2,442																																										
栄養サポートチーム加算	951	988	892																																										
認知症ケア加算	1,176	1,331	1,292																																										
早期離床リハビリテーション加算	999	1,313	1,347																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																										
CT	3,091	3,271	3,321																																										
MRI	412	372	390																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																												
		<ul style="list-style-type: none"> <li>対象診療科については、2022年6月から脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科の運用を開始し、9診療科から12診療科まで拡大した。</li> <li>入院支援から退院支援への情報共有を図り、患者に継続した支援が実施できるように業務改善した。</li> <li>退院支援における患者支援の方法も検討し、安心して退院できるよう業務改善した。予定入院する患者の入院当日の面談、入院支援室看護師からの事前の情報共有、病棟カンファレンスへの入院支援室・退院支援室・外来看護師の参加、さらに緊急入院となった患者への面談を確実に実施するようにした。</li> </ul> <p>○入退院支援業務の実施状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院時支援介入数</td> <td>879</td> <td>2,706</td> <td>3,472</td> </tr> <tr> <td>入退院支援加算算定数</td> <td>2,208</td> <td>2,897</td> <td>3,906</td> </tr> <tr> <td>入院時支援加算算定数</td> <td>162</td> <td>302</td> <td>1,262</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	入院時支援介入数	879	2,706	3,472	入退院支援加算算定数	2,208	2,897	3,906	入院時支援加算算定数	162	302	1,262															
項目/年度	2020	2021	2022																														
入院時支援介入数	879	2,706	3,472																														
入退院支援加算算定数	2,208	2,897	3,906																														
入院時支援加算算定数	162	302	1,262																														
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間の改善等 2 院内環境の快適性の向上 3 医療に関する相談体制の充実 4 外国人に配慮した受診支援 5 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上 6 インフォームド・コンセントの徹底及びセカンドオピニオンの推進	4 外国人に配慮した受診支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19の影響により派遣が中断されていた通訳ボランティアは2022年4月から再開された。外国人の受診を支援するため、ボランティア及び職員による対応を引き続き行った。</li> </ul> <p>○医療通訳病院職員対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>294</td> <td>259</td> <td>167</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>399</td> <td>507</td> <td>533</td> </tr> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>241</td> <td>214</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>スペイン語</td> <td>102</td> <td>51</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>62</td> <td>53</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,098</td> <td>1,084</td> <td>984</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	中国語	294	259	167	英語	399	507	533	ポルトガル語	241	214	181	スペイン語	102	51	59	その他	62	53	44	合計	1,098	1,084	984	1 待ち時間の改善等 <外来部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>検査・診察・治療を患者に合わせたきめ細かい対応を行うことにより、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>検査が必要な患者に対しては検査を先に実施</li> <li>看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施</li> <li>入院患者に対する説明の一元化</li> <li>病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施</li> <li>診療科に即したパンフレットや図書を配置</li> </ul> </div>	IV	医療相談件数の増加や医療通訳体制の確保及び「こども患者さんの権利」の創設に加え、その他の項目も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	2020	2021	2022																														
中国語	294	259	167																														
英語	399	507	533																														
ポルトガル語	241	214	181																														
スペイン語	102	51	59																														
その他	62	53	44																														
合計	1,098	1,084	984																														

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																						
7	病院運営に関する情報発信及び意見の反映	<p>○医療通訳ボランティア派遣依頼件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table> <p>・電話による通訳サービスを継続し、通訳担当職員不在時（夜間休日）などにも対応できるよう努めた。</p> <p>○電話通訳サービス利用件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ベトナム語</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>スペイン語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タイ語</td> <td>0</td> <td>20</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ミャンマー語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>インドネシア語</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17</td> <td>38</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療に関する各種書類については、説明書等の文書や患者の診断書の翻訳版を提供することで、外国人患者が安心して受診できる体制の構築に努めた。今年度は、初診時に使用する問診票について英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、タガログ語に翻訳したものを作成した。</p> <p>5 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <p>・患者の権利や個人情報保護に関する方針をロビーやホームページに継続して掲示している。また、新たに「こども患者さんの権利」を創設した。</p> <p>・患者満足度調査の結果、5段階評価で「満足」と「やや満足」の割合は、外来は83.2%、入院は91.2%となり、目標</p>	項目/年度	2020	2021	2022	ポルトガル語	2	0	36	中国語	0	0	0	タガログ語	0	0	11	合計	2	0	47	項目/年度	2020	2021	2022	ポルトガル語	9	11	3	中国語	0	0	0	タガログ語	1	5	2	ベトナム語	6	2	7	英語	1	0	0	スペイン語	0	0	0	タイ語	0	20	9	ミャンマー語	0	0	13	インドネシア語	0	0	2	合計	17	38	36	<p>・医療機関からの外来予約について、インターネットを活用した受付を2023年1月より全診療科に拡大した。（従前は小児科のみ）</p> <p>・患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、患者満足度調査では待ち時間がやや長くなっているが、システムによる調査は待ち時間は減る傾向となった。2023年1月に更新された電子カルテに慣れていなかった点はあるものの、新しい案内表示などが待ち時間の減少に寄与したものと思われる。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32</td> <td>36</td> <td>38</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月/待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2021.1</td> <td>51.4</td> <td>43.5</td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>2022.1</td> <td>43.9</td> <td>46.9</td> <td>9.2</td> </tr> <tr> <td>2023.1</td> <td>46.6</td> <td>46.2</td> <td>7.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;中央検査部門&gt;</p> <p>・待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、第2採血室にて全体の3割の採血を実施した。</p> <p>2020：6ブース→2021：9ブース→2022：9ブース</p> <p>・超音波検査（生理検査部門）では、COVID-19の影響の継続により対象患者数が減少したが、退職に伴い技師数も減少したため、待ち時間が増加した。また、電子カルテ更新によりレポートシステムが変更になったことで記入時時間がかかったことが待ち時間増加の要因にもなっている。</p>	2020	2021	2022	32	36	38	年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	2021.1	51.4	43.5	5.2	2022.1	43.9	46.9	9.2	2023.1	46.6	46.2	7.2		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																								
ポルトガル語	2	0	36																																																																																								
中国語	0	0	0																																																																																								
タガログ語	0	0	11																																																																																								
合計	2	0	47																																																																																								
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																								
ポルトガル語	9	11	3																																																																																								
中国語	0	0	0																																																																																								
タガログ語	1	5	2																																																																																								
ベトナム語	6	2	7																																																																																								
英語	1	0	0																																																																																								
スペイン語	0	0	0																																																																																								
タイ語	0	20	9																																																																																								
ミャンマー語	0	0	13																																																																																								
インドネシア語	0	0	2																																																																																								
合計	17	38	36																																																																																								
2020	2021	2022																																																																																									
32	36	38																																																																																									
年月/待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																																																																																								
2021.1	51.4	43.5	5.2																																																																																								
2022.1	43.9	46.9	9.2																																																																																								
2023.1	46.6	46.2	7.2																																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																		
		<p>を達成できた。</p> <p>○患者満足度調査満足割合 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来</td> <td>85.8</td> <td>81.9</td> <td>83.2</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>91.5</td> <td>93.9</td> <td>91.2</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	外来	85.8	81.9	83.2	入院	91.5	93.9	91.2	<p>○超音波検査待ち時間の推移（カッコ内の数字は技師数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020 (13)</td> <td>25,430件</td> <td>93.3%</td> <td>5.7%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>2021 (12)</td> <td>24,906件</td> <td>94.7%</td> <td>4.6%</td> <td>0.7%</td> </tr> <tr> <td>2022 (10)</td> <td>24,428件</td> <td>85.4%</td> <td>12.0%</td> <td>2.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外来超音波も減少したが、心臓超音波が依然として多く、昨年と同様に循環器の医師と相談し、超音波検査室外で実施する特殊検査を午後に集約し、検査室内の午前中の人員を確保することで、対応した。</p> <p>○超音波検査件数（外来分） 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総数</td> <td>18,860</td> <td>19,828</td> <td>18,250</td> </tr> <tr> <td>うち心臓超音波</td> <td>5,477</td> <td>8,929</td> <td>8,220</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者や来院者により快適な環境を提供するため、必要な設備改修・補修を行った。</li> <li>院内の案内表示については、患者の利便性に配慮した見直しを適宜行った。</li> <li>患者への対応が円滑になるよう、受付環境の配置（椅子の配置や待ち行列の整理等）の見直しを行った。</li> <li>治療効果を上げるため、病名と病態にあった病院給食を提供できるよう総合サポートセンターでの面談を中心とした入院時のチェック体制を強化し、栄養管理の充実を図った。</li> </ul> <p>○特別食提供割合 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42.5</td> <td>41.9</td> <td>39.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>・患者の嗜好に配慮した病院給食とするため、2022年度嗜好調査や行事食提供時の意見収集を実施し、メニューの改善を図った。</p> <p>・院内ボランティアやコンサート等については、COVID-19の影響により、実施できなかった。</p>	年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超	2020 (13)	25,430件	93.3%	5.7%	1.0%	2021 (12)	24,906件	94.7%	4.6%	0.7%	2022 (10)	24,428件	85.4%	12.0%	2.6%	項目/年度	2020	2021	2022	総数	18,860	19,828	18,250	うち心臓超音波	5,477	8,929	8,220	2020	2021	2022	42.5	41.9	39.8		
項目/年度	2020	2021	2022																																																				
外来	85.8	81.9	83.2																																																				
入院	91.5	93.9	91.2																																																				
年度/項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																																			
2020 (13)	25,430件	93.3%	5.7%	1.0%																																																			
2021 (12)	24,906件	94.7%	4.6%	0.7%																																																			
2022 (10)	24,428件	85.4%	12.0%	2.6%																																																			
項目/年度	2020	2021	2022																																																				
総数	18,860	19,828	18,250																																																				
うち心臓超音波	5,477	8,929	8,220																																																				
2020	2021	2022																																																					
42.5	41.9	39.8																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																										
			<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週月曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。患者等からの苦情については主治医や関係職種との情報共有を行い対応した。</li> </ul> <p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院の環境</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>患者等からの相談</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>患者相談対応力向上のための事例検討</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>患者等からの苦情</td> <td>44</td> <td>37</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>17</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療相談は外来及び入院後の相談があり、高齢化に伴い独居や生活保護などの福祉相談が増加した。また、入退院支援加算算定数増加の取り組みにより入院後7日以内の相談件数が増加した。</li> </ul> <p>○医療相談件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,368</td> <td>21,536</td> <td>22,036</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 インフォームド・コンセントの徹底及びセカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インフォームド・コンセントを徹底するとともに、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備した。</li> </ul> <p>○セカンドオピニオン実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>53</td> <td>72</td> <td>62</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県総合医療センター運営協議会を书面会議にて1回開催</li> </ul>	項目/年度	2020	2021	2022	病院の環境	3	0	0	患者等からの相談	5	4	4	患者相談対応力向上のための事例検討	28	32	36	患者等からの苦情	44	37	44	その他	17	1	5	2020	2021	2022	20,368	21,536	22,036	項目/年度	2020	2021	2022	外来受入	26	24	28	他院紹介	53	72	62		
項目/年度	2020	2021	2022																																												
病院の環境	3	0	0																																												
患者等からの相談	5	4	4																																												
患者相談対応力向上のための事例検討	28	32	36																																												
患者等からの苦情	44	37	44																																												
その他	17	1	5																																												
2020	2021	2022																																													
20,368	21,536	22,036																																													
項目/年度	2020	2021	2022																																												
外来受入	26	24	28																																												
他院紹介	53	72	62																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																										
			<p>し、地域の代表者等から意見を聴取した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2022年9～10月に病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表するとともに、身だしなみチェックやあいさつの啓発等具体的な取組を実施した。</li> <li>2022年度「提案箱」に426件（感謝203件、意見201件、苦情22件）の意見が寄せられた。毎日回収し、すみやかに改善を実施することで、回収から2週間後には院内に掲示することができた。また、職員へのフィードバックについては、1か月分をまとめて管理会議で報告し、周知を図った。</li> </ul>																																												
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。新たな診療科の設置や需要に対応するため医療支援部門の新設・再編等、将来を見据えた診療体制の充実を図った。</li> </ul> <p>○組織・診療科等の新設等</p> <table border="1"> <tr> <td>【事務局等】</td> </tr> <tr> <td>・診療報酬対策室の設置</td> </tr> <tr> <td>・入院会計担当の設置</td> </tr> <tr> <td>【診療部門】</td> </tr> <tr> <td>・口腔腫瘍科の設置</td> </tr> <tr> <td>・脳腫瘍治療科の設置</td> </tr> <tr> <td>【医療支援部門】</td> </tr> <tr> <td>・超音波検査部の設置</td> </tr> <tr> <td>・臨床工学部の再編</td> </tr> <tr> <td>・医師事務支援部への改称</td> </tr> </table>	【事務局等】	・診療報酬対策室の設置	・入院会計担当の設置	【診療部門】	・口腔腫瘍科の設置	・脳腫瘍治療科の設置	【医療支援部門】	・超音波検査部の設置	・臨床工学部の再編	・医師事務支援部への改称	<p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する医師を引き続き登用した。 年俸制医師 2020：7人→2021：7人→2022：7人</li> <li>職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者を再雇用し、更なる充実を図った。</li> </ul> <p>○職種別再雇用職員数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	医師	7	7	7	看護師	7	7	12	診療放射線技師	3	2	2	臨床検査技師	1	1	2	薬剤師	1	0	0	管理栄養士	1	0	0	合計	20	15	23	IV	<p>将来の需要を見据えた新たな部門の設置に加え、業務の専門性に合った柔軟な雇用ができており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>
【事務局等】																																															
・診療報酬対策室の設置																																															
・入院会計担当の設置																																															
【診療部門】																																															
・口腔腫瘍科の設置																																															
・脳腫瘍治療科の設置																																															
【医療支援部門】																																															
・超音波検査部の設置																																															
・臨床工学部の再編																																															
・医師事務支援部への改称																																															
項目/年度	2020	2021	2022																																												
医師	7	7	7																																												
看護師	7	7	12																																												
診療放射線技師	3	2	2																																												
臨床検査技師	1	1	2																																												
薬剤師	1	0	0																																												
管理栄養士	1	0	0																																												
合計	20	15	23																																												
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p>		<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>紹介率・逆紹介率について、COVID-19の影響下、患者の移動制限が継続される中で、年度計画（紹介率75%以上、逆紹介率95%以上）の目標に対して逆紹介率は達成できなかったが、紹介率は達成できなかった。</li> </ul>	III	<p>近隣医療機関との役割分担や連携強化について、COVID-19の影響により実質的な活動が困難な中、非対面での対応等、必要な工夫は実</p>																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																												
	2 地域連携バスの整備普及 3 疾病予防の推進 4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献 5 岐阜医療圏地域コンソーシアムの活用		<p>○紹介率・逆紹介率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.0</td> <td>71.9</td> <td>67.2</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>97.6</td> <td>110.5</td> <td>107.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・開放型病床登録医療機関及び登録医師数の拡大を目指し、新規に開設した医療機関に対する働きかけを行った。併せて廃止となった医療機関の登録を整理した。結果、医療機関数は減少したが、医師の登録数は増加した。</p> <p>○開放型病床登録数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関数</td> <td>416</td> <td>433</td> <td>406</td> </tr> <tr> <td>医師数</td> <td>531</td> <td>550</td> <td>570</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 地域連携バスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携バスに関する院内への周知、定期的なモニタリングを行うとともに、院内外の相談窓口として連絡調整を行った。</li> <li>・地域医師会や岐阜大学医学部附属病院による地域連携バスに係る学習会は、今年度もCOVID-19の影響で開催されなかった。</li> <li>・地域連携バスの院内での普及を進めており、現在17種類の運用を行っている。2021年度に減少した脳卒中の適用数は回復したが、大腿骨頸部骨折の適用数が減少し、運用実績数は前年度をやや下回った。</li> </ul> <p>○地域連携バスの運用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携バス名</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>急性心筋梗塞</td> <td>62</td> <td>69</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>大腿骨頸部骨折</td> <td>132</td> <td>124</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>313</td> <td>255</td> <td>318</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>30</td> <td>45</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>72</td> <td>70</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>82</td> <td>40</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>肝炎</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	紹介率	70.0	71.9	67.2	逆紹介率	97.6	110.5	107.9	項目/年度	2020	2021	2022	医療機関数	416	433	406	医師数	531	550	570	連携バス名	2020	2021	2022	急性心筋梗塞	62	69	44	大腿骨頸部骨折	132	124	82	脳卒中	313	255	318	胃がん	30	45	30	肝がん	1	2	0	大腸がん	72	70	43	乳がん	82	40	48	肝炎	1	0	0		施できているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	2020	2021	2022																																																														
紹介率	70.0	71.9	67.2																																																														
逆紹介率	97.6	110.5	107.9																																																														
項目/年度	2020	2021	2022																																																														
医療機関数	416	433	406																																																														
医師数	531	550	570																																																														
連携バス名	2020	2021	2022																																																														
急性心筋梗塞	62	69	44																																																														
大腿骨頸部骨折	132	124	82																																																														
脳卒中	313	255	318																																																														
胃がん	30	45	30																																																														
肝がん	1	2	0																																																														
大腸がん	72	70	43																																																														
乳がん	82	40	48																																																														
肝炎	1	0	0																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由																																							
			<table border="1"> <tr><td>肺がん</td><td>16</td><td>9</td><td>22</td></tr> <tr><td>糖尿病</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>COPD</td><td>1</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>CKD</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>PSA</td><td>21</td><td>14</td><td>22</td></tr> <tr><td>前立腺がん</td><td>33</td><td>29</td><td>31</td></tr> <tr><td>尿路上皮がん</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>サポートパス</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>心不全</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>766</td><td>658</td><td>644</td></tr> </table>	肺がん	16	9	22	糖尿病	1	1	2	COPD	1	0	2	CKD	0	0	0	PSA	21	14	22	前立腺がん	33	29	31	尿路上皮がん	1	0	0	サポートパス	0	0	0	心不全	0	0	0	合計	766	658	644			
肺がん	16	9	22																																											
糖尿病	1	1	2																																											
COPD	1	0	2																																											
CKD	0	0	0																																											
PSA	21	14	22																																											
前立腺がん	33	29	31																																											
尿路上皮がん	1	0	0																																											
サポートパス	0	0	0																																											
心不全	0	0	0																																											
合計	766	658	644																																											
			<p>3 疾病予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病患者に対する栄養指導を積極的に実施した結果、糖尿病患者に対する実施率は向上できた。心不全患者に対しては患者の高齢化に伴い患者本人への指導が困難な中、実施率は昨年度を上回ることができた。</li> </ul>																																											
			<p>○各疾患に対する栄養指導実施率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病</td> <td>95.0</td> <td>95.1</td> <td>97.9</td> </tr> <tr> <td>心不全</td> <td>67.1</td> <td>47.0</td> <td>53.0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	糖尿病	95.0	95.1	97.9	心不全	67.1	47.0	53.0																															
項目/年度	2020	2021	2022																																											
糖尿病	95.0	95.1	97.9																																											
心不全	67.1	47.0	53.0																																											
			<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病教室は8回実施した。肝臓病教室は、対面実施の代替として情報紙を年3回発行し、外来や栄養指導で配布した。WEB健康祭では、レシピ動画を配信した。</li> <li>COVID-19の影響により、健康祭をWEB配信にて、「からだとこころにやさしい医療」をテーマに、5つのセミナーをライブ形式で実施した。</li> </ul>																																											
			<p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・療養への移行に当たっては、退院後の在宅医療を担う医療機関の医師、看護師、訪問看護ステーションの看護師等と退院前合同カンファレンスを実施した。COVID-19の影響もあり、リモートでの家族面談や介護保険申請の認定審査などにも立ち会った。また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対しては、ケアマネージャーと連携した退院指</li> </ul>																																											

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																														
			<p>導を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19の影響により、転院先となる医療機関等への訪問件数は減少した。</li> </ul> <p>○医療機関への訪問件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>転院先</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>開業医</td> <td>16</td> <td>41</td> <td>45</td> </tr> </tbody> </table> <p>・今年度はCOVID-19の影響により、転院患者数や退院調整件数が減少したが、それ以外の項目は逆紹介患者数を中心に増加傾向となった。</p> <p>○連携関連件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介患者数</td> <td>13,139</td> <td>13,837</td> <td>14,120</td> </tr> <tr> <td>逆紹介患者数</td> <td>18,330</td> <td>21,249</td> <td>22,670</td> </tr> <tr> <td>転院患者数</td> <td>1,177</td> <td>1,140</td> <td>1,016</td> </tr> </tbody> </table> <p>○退院調整件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,802</td> <td>1,839</td> <td>1,835</td> </tr> </tbody> </table> <p>○介護施設・ケアマネジャーからの情報提供件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>881</td> <td>787</td> <td>1,074</td> </tr> </tbody> </table> <p>○退院前合同カンファレンスの実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>77</td> <td>83</td> <td>108</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療ニーズが高い患者が安心・安全に在宅療養へ移行できるように支援するため、地域の訪問看護ステーションの看護師と共に患家を訪問し、支援を実施した。また、COVID-19の影響で訪問できない場合には、リモートによる訪問も実施し</p>	項目/年度	2020	2021	2022	転院先	4	1	0	開業医	16	41	45	項目/年度	2020	2021	2022	紹介患者数	13,139	13,837	14,120	逆紹介患者数	18,330	21,249	22,670	転院患者数	1,177	1,140	1,016	2020	2021	2022	1,802	1,839	1,835	2020	2021	2022	881	787	1,074	2020	2021	2022	77	83	108		
項目/年度	2020	2021	2022																																																
転院先	4	1	0																																																
開業医	16	41	45																																																
項目/年度	2020	2021	2022																																																
紹介患者数	13,139	13,837	14,120																																																
逆紹介患者数	18,330	21,249	22,670																																																
転院患者数	1,177	1,140	1,016																																																
2020	2021	2022																																																	
1,802	1,839	1,835																																																	
2020	2021	2022																																																	
881	787	1,074																																																	
2020	2021	2022																																																	
77	83	108																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																				
			<p>た。</p> <p>○訪問看護関連件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院前</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>退院後</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>うち、訪問看護同行</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 岐阜医療圏地域コンソーシアムの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に開催されるワーキング会議（治験、ゲノム、研修、薬品等契約、人事、医師確保、病院薬局連携、災害等）に当センターの各分野の担当者が参加し、その結果を構成医療機関の院長による運営委員会にて報告、協議する等、効率的で質の高い医療体制の構築に向けて連携の強化を図った。</li> </ul>	項目/年度	2020	2021	2022	退院前	4	1	0	退院後	11	13	6	うち、訪問看護同行	9	11	5																																						
項目/年度	2020	2021	2022																																																						
退院前	4	1	0																																																						
退院後	11	13	6																																																						
うち、訪問看護同行	9	11	5																																																						
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 救急医療</p> <p>2 心血管疾患医療</p> <p>3 周産期医療</p> <p>4 がん医療</p> <p>5 こども医療</p>	<p>1 救急医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜地域の救命救急センターとして、精神科疾患を除くすべての救命救急疾患に対し全診療科が対応、当センターでの救急医療の完結を目指し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れた。</li> <li>受入体制について、外来については、内科系、外科系、小児科系の医師による24時間体制としたほか、入院については、主治医制で対応した。一方、臨床検査や放射線検査については、常時、検査可能とし、救急関係診療科の24時間呼び出しにより、緊急手術に常時対応できる体制を確保した。また、麻酔科医、産婦人科医等専門診療科医については、オンコール体制での対応を行った。</li> </ul> <p>○病床利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数 (単位：人)</td> <td>6,360</td> <td>7,708</td> <td>8,304</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (単位：%)</td> <td>58.1</td> <td>70.4</td> <td>75.8</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	延入院患者数 (単位：人)	6,360	7,708	8,304	病床利用率 (単位：%)	58.1	70.4	75.8	<p>2 心血管疾患医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携してチーム医療を行う県内初の施設として、心臓血管系の疾患患者に対応するとともに、不整脈科等設置した専門の診療科において、それぞれの患者に最適な治療を提供することができた。</li> </ul> <p>○手術・検査数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,023</td> <td>1,082</td> <td>1,053</td> </tr> <tr> <td>PCI(経皮的冠動脈形成術)</td> <td>398</td> <td>531</td> <td>421</td> </tr> <tr> <td>冠動脈バイパス術</td> <td>26</td> <td>42</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>弁置換術</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>弁形成術</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>大動脈瘤切除術</td> <td>34</td> <td>46</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p>○循環器系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ablation(アブレーション)</td> <td>255</td> <td>273</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>PMI(ペースメーカー)</td> <td>128</td> <td>150</td> <td>143</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	心臓カテーテル	1,023	1,082	1,053	PCI(経皮的冠動脈形成術)	398	531	421	冠動脈バイパス術	26	42	47	弁置換術	25	28	17	弁形成術	6	11	15	大動脈瘤切除術	34	46	48	項目/年度	2020	2021	2022	Ablation(アブレーション)	255	273	259	PMI(ペースメーカー)	128	150	143	IV	心疾患疾患の手術数増加や重症な周産期患者の対応に加え、がん患者数も維持できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	2020	2021	2022																																																						
延入院患者数 (単位：人)	6,360	7,708	8,304																																																						
病床利用率 (単位：%)	58.1	70.4	75.8																																																						
項目/年度	2020	2021	2022																																																						
心臓カテーテル	1,023	1,082	1,053																																																						
PCI(経皮的冠動脈形成術)	398	531	421																																																						
冠動脈バイパス術	26	42	47																																																						
弁置換術	25	28	17																																																						
弁形成術	6	11	15																																																						
大動脈瘤切除術	34	46	48																																																						
項目/年度	2020	2021	2022																																																						
Ablation(アブレーション)	255	273	259																																																						
PMI(ペースメーカー)	128	150	143																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己評価	自己評価理由																																																																																																														
		<p>○救急車受入状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>4,705</td> <td>5,327</td> <td>6,014</td> </tr> <tr> <td>一日平均件数</td> <td>12.9</td> <td>14.6</td> <td>16.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○救急外来患者（診療科別：上位のみ） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>2,831</td> <td>3,945</td> <td>4,672</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>2,237</td> <td>2,449</td> <td>2,593</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,096</td> <td>2,051</td> <td>2,072</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>2,827</td> <td>2,975</td> <td>3,121</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>1,236</td> <td>1,215</td> <td>1,160</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>1,482</td> <td>1,764</td> <td>1,765</td> </tr> <tr> <td>脳神経内科</td> <td>1,107</td> <td>1,185</td> <td>1,436</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>5,583</td> <td>5,758</td> <td>6,236</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>19,399</td> <td>21,342</td> <td>23,055</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 周産期医療          &lt;総合周産期センターの運営&gt;          ・新生児センター機能とハイリスクの妊産婦等の医療機能などの統合を継続し、産婦人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供した。特に、合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産褥異常、胎児異常等の患者の診療を行った。          ・当センターを受診されている妊婦だけではなく、緊急母体搬送で送られてくるハイリスク妊婦を24時間体制で受け入れた。</p> <p>○母体搬送の受入件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>75(2)</td> <td>143(1)</td> <td>147(0)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）はヘリコプター搬送《内数》</p>	項目/年度	2020	2021	2022	救急車受入件数	4,705	5,327	6,014	一日平均件数	12.9	14.6	16.5	項目/年度	2020	2021	2022	小児科	2,831	3,945	4,672	消化器内科	2,237	2,449	2,593	整形外科	2,096	2,051	2,072	総合診療科	2,827	2,975	3,121	外科	1,236	1,215	1,160	循環器内科	1,482	1,764	1,765	脳神経内科	1,107	1,185	1,436	その他	5,583	5,758	6,236	合計	19,399	21,342	23,055	項目/年度	2020	2021	2022	母体搬送	75(2)	143(1)	147(0)	救急搬送	6	10	3	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>CRT（心臓再同期療法）</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ICD（植込み型除細動器）</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>CRT-D（両室ペースメーカー機能付植込み型除細動器）</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>○心臓血管系 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR（腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>TEVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>TAVI（TAVR）（経カテーテル大動脈弁置換術）</td> <td>50</td> <td>59</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）</td> <td>40</td> <td>30</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>左心耳閉鎖術（経カテーテル）</td> <td>-</td> <td>31</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 こども医療          ・小児医療の拠点病院として、一般の医療機関では対応が困難な小児の疾患に対し、高度で専門的な医療を提供した。          ・6床のPICU（小児集中治療室）により、重篤な小児患者への対応を行った。          ・救急外来では、COVID-19の影響による患者数の減少が継続しているが、24時間体制で小児患者を受け入れた。          ・岐阜県の小児医療の中心的な役割を担う施設として、日本小児総合医療施設協議会（JACHRI）にて総会への参加を継続し、今年度は年次総会の担当病院を務めた。</p> <p>○PICUにおける病床稼働状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数（人）</td> <td>178</td> <td>202</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>稼働率（%）</td> <td>51.5</td> <td>59.9</td> <td>75.4</td> </tr> </tbody> </table>	CRT（心臓再同期療法）	6	9	3	ICD（植込み型除細動器）	23	17	32	CRT-D（両室ペースメーカー機能付植込み型除細動器）	8	8	8	項目/年度	2020	2021	2022	EVAR（腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	34	35	31	TEVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	7	11	6	TAVI（TAVR）（経カテーテル大動脈弁置換術）	50	59	50	MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）	40	30	26	左心耳閉鎖術（経カテーテル）	-	31	72	項目/年度	2020	2021	2022	入院患者数（人）	178	202	168	稼働率（%）	51.5	59.9	75.4		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																		
救急車受入件数	4,705	5,327	6,014																																																																																																																		
一日平均件数	12.9	14.6	16.5																																																																																																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																		
小児科	2,831	3,945	4,672																																																																																																																		
消化器内科	2,237	2,449	2,593																																																																																																																		
整形外科	2,096	2,051	2,072																																																																																																																		
総合診療科	2,827	2,975	3,121																																																																																																																		
外科	1,236	1,215	1,160																																																																																																																		
循環器内科	1,482	1,764	1,765																																																																																																																		
脳神経内科	1,107	1,185	1,436																																																																																																																		
その他	5,583	5,758	6,236																																																																																																																		
合計	19,399	21,342	23,055																																																																																																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																		
母体搬送	75(2)	143(1)	147(0)																																																																																																																		
救急搬送	6	10	3																																																																																																																		
CRT（心臓再同期療法）	6	9	3																																																																																																																		
ICD（植込み型除細動器）	23	17	32																																																																																																																		
CRT-D（両室ペースメーカー機能付植込み型除細動器）	8	8	8																																																																																																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																		
EVAR（腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	34	35	31																																																																																																																		
TEVAR（胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術）	7	11	6																																																																																																																		
TAVI（TAVR）（経カテーテル大動脈弁置換術）	50	59	50																																																																																																																		
MitraClip（経皮的僧帽弁接合不全修復術）	40	30	26																																																																																																																		
左心耳閉鎖術（経カテーテル）	-	31	72																																																																																																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																		
入院患者数（人）	178	202	168																																																																																																																		
稼働率（%）	51.5	59.9	75.4																																																																																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																																																								
		<p>○産科合併症 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>117</td> <td>106</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>HDP (妊娠高血圧症候群)</td> <td>36</td> <td>34</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>53</td> <td>50</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>80</td> <td>84</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>77</td> <td>115</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>FGR (胎児発育不全)</td> <td>43</td> <td>53</td> <td>51</td> </tr> </tbody> </table> <p>○合併症妊娠 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>117</td> <td>132</td> <td>157</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>1</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>9</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>39</td> <td>43</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>35</td> <td>38</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>3</td> <td>22</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>307</td> <td>335</td> <td>291</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>209</td> <td>254</td> <td>264</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>91</td> <td>128</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>156</td> <td>149</td> <td>148</td> </tr> </tbody> </table> <p>○保健指導実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>1,224</td> <td>1,177</td> <td>1,131</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	早産	117	106	95	HDP (妊娠高血圧症候群)	36	34	31	常位胎盤・早期剥離	5	12	6	胎盤位置異常	53	50	28	羊水の異常	80	84	52	胎児異常	77	115	101	FGR (胎児発育不全)	43	53	51	項目/年度	2020	2021	2022	婦人科系疾患	117	132	157	心・血管疾患	9	8	10	血液疾患	1	8	9	腎疾患	9	14	13	糖尿病・妊娠性糖尿病	39	43	36	甲状腺疾患	35	38	59	自己免疫・膠原病	9	5	3	呼吸器疾患	8	13	19	消化器疾患	3	22	9	精神・神経系	11	14	6	運動機能系	0	0	0	項目/年度	2020	2021	2022	総合周産期加算	307	335	291	ハイリスク妊娠	209	254	264	ハイリスク分娩	91	128	109	救急加算	156	149	148	項目/年度	2020	2021	2022	保健指導	1,224	1,177	1,131	<p>○15歳未満救急外来受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>4,581</td> <td>5,711</td> <td>6,408</td> </tr> <tr> <td>うち、入院数</td> <td>728</td> <td>848</td> <td>890</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	受入患者数	4,581	5,711	6,408	うち、入院数	728	848	890		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																										
早産	117	106	95																																																																																																																										
HDP (妊娠高血圧症候群)	36	34	31																																																																																																																										
常位胎盤・早期剥離	5	12	6																																																																																																																										
胎盤位置異常	53	50	28																																																																																																																										
羊水の異常	80	84	52																																																																																																																										
胎児異常	77	115	101																																																																																																																										
FGR (胎児発育不全)	43	53	51																																																																																																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																										
婦人科系疾患	117	132	157																																																																																																																										
心・血管疾患	9	8	10																																																																																																																										
血液疾患	1	8	9																																																																																																																										
腎疾患	9	14	13																																																																																																																										
糖尿病・妊娠性糖尿病	39	43	36																																																																																																																										
甲状腺疾患	35	38	59																																																																																																																										
自己免疫・膠原病	9	5	3																																																																																																																										
呼吸器疾患	8	13	19																																																																																																																										
消化器疾患	3	22	9																																																																																																																										
精神・神経系	11	14	6																																																																																																																										
運動機能系	0	0	0																																																																																																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																										
総合周産期加算	307	335	291																																																																																																																										
ハイリスク妊娠	209	254	264																																																																																																																										
ハイリスク分娩	91	128	109																																																																																																																										
救急加算	156	149	148																																																																																																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																										
保健指導	1,224	1,177	1,131																																																																																																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																																										
受入患者数	4,581	5,711	6,408																																																																																																																										
うち、入院数	728	848	890																																																																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
		<table border="1" data-bbox="517 253 1016 288"> <tr> <td>母乳相談</td> <td>114</td> <td>113</td> <td>96</td> </tr> </table> <p data-bbox="517 325 815 347">&lt;新生児医療センターの運営&gt;</p> <ul data-bbox="517 357 1133 647" style="list-style-type: none"> <li>・超低出生体重24名のうち10名(42%)は極めて未熟性が強い22-23週の出生であった(2021年度は6名)。</li> <li>・軽症の院外出生児は他院へ三角搬送を行い、当院でしか管理できない中等症・重症例を受け入れた結果、院外出生児の受け入れはさらに減少した。</li> <li>・当院では緊急対応必要な中等症・重症例を中心に新生児手術を行っており、軽症例は岐阜大学病院へトリアージを行った結果、23件と適切な小児外科症例手術数に落ち着いてきている。</li> </ul> <p data-bbox="517 687 1039 710">○出生、母体搬送件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="517 716 1059 924"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>207</td> <td>229</td> <td>198</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>84</td> <td>63</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>母体搬送経由</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>31</td> <td>22</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>57</td> <td>48</td> <td>41</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="517 963 1059 986">○新生児手術状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="517 992 1046 1165"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>25</td> <td>47</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="517 1204 647 1227">4 がん医療</p> <ul data-bbox="517 1236 1133 1361" style="list-style-type: none"> <li>・がん診療連携拠点病院として地域の医療機関と連携、あらゆる病期のがん患者に対して、良質な医療を提供した結果、COVID-19の影響下にあっても入院患者および外来患者は増加した。</li> </ul>	母乳相談	114	113	96	項目/年度	2020	2021	2022	院内出生	207	229	198	院外出生	84	63	39	母体搬送経由	36	30	31	超低出生体重児	31	22	24	極低出生体重児	57	48	41	項目/年度	2020	2021	2022	小児心臓外科	15	9	8	小児脳神経外科	5	6	3	小児外科	25	47	23	耳鼻科(気管切開)	3	4	4			
母乳相談	114	113	96																																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																																		
院内出生	207	229	198																																																		
院外出生	84	63	39																																																		
母体搬送経由	36	30	31																																																		
超低出生体重児	31	22	24																																																		
極低出生体重児	57	48	41																																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																																		
小児心臓外科	15	9	8																																																		
小児脳神経外科	5	6	3																																																		
小児外科	25	47	23																																																		
耳鼻科(気管切開)	3	4	4																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																					
		<p>○がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,926</td> <td>3,069</td> <td>3,342</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>70,467</td> <td>73,399</td> <td>74,646</td> </tr> <tr> <td>がん患者死亡数</td> <td>67</td> <td>62</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医療従事者や一般市民を対象とした研修会やがん事例の検討を行う「がんカンファレンス」、末期がん患者の症例や課題を検討する「病診連携緩和ケアカンファレンス」を感染防止に配慮するためハイブリッド形式で開催し、がん医療に係る啓発を行った。</p> <p>・がん認定看護師及びがん関連分野認定看護師が、がん治療及び療養に携わった。</p> <p>○がん治療及び療養に携わるがん認定看護師等 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん看護専門看護師</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛看護師認定看護師</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>がん化学療法認定看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>がん放射線療法認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>乳がん看護認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア認定看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>摂食嚥下障害認定看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・身体的・精神的な苦痛を和らげる緩和ケアについて、チームとして取り組んだ。</p> <p>○緩和ケアチームの人員体制等</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人</li> <li>・依頼者数 2020：209人 → 2021：220人 → 2022：252人</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	入院	2,926	3,069	3,342	外来	70,467	73,399	74,646	がん患者死亡数	67	62	73	項目／年度	2020	2021	2022	がん看護専門看護師	1	0	0	がん性疼痛看護師認定看護師	2	1	1	がん化学療法認定看護師	3	3	3	がん放射線療法認定看護師	1	1	1	乳がん看護認定看護師	1	1	1	緩和ケア認定看護師	1	1	1	皮膚・排泄ケア認定看護師	3	3	2	摂食嚥下障害認定看護師	1	1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人</li> <li>・依頼者数 2020：209人 → 2021：220人 → 2022：252人</li> </ul>			
項目／年度	2020	2021	2022																																																							
入院	2,926	3,069	3,342																																																							
外来	70,467	73,399	74,646																																																							
がん患者死亡数	67	62	73																																																							
項目／年度	2020	2021	2022																																																							
がん看護専門看護師	1	0	0																																																							
がん性疼痛看護師認定看護師	2	1	1																																																							
がん化学療法認定看護師	3	3	3																																																							
がん放射線療法認定看護師	1	1	1																																																							
乳がん看護認定看護師	1	1	1																																																							
緩和ケア認定看護師	1	1	1																																																							
皮膚・排泄ケア認定看護師	3	3	2																																																							
摂食嚥下障害認定看護師	1	1	2																																																							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師7人、看護師4人、薬剤師2人、臨床心理士2人、栄養士2人、リハビリ4人</li> <li>・依頼者数 2020：209人 → 2021：220人 → 2022：252人</li> </ul>																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																						
		<p>○治療の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,299 (150)</td> <td>1,200 (120)</td> <td>1,319 (149)</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>6,469</td> <td>6,549</td> <td>6,599</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>2,601</td> <td>2,634</td> <td>2,925</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>471</td> <td>445</td> <td>427</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ ( ) はダ・ヴィンチによる手術《内数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲノム医療に関しては、がんゲノム連携病院として、21件のがんゲノム遺伝子パネル検査を実施した。</li> <li>がん相談支援センターとして、「相談室」、「退院サポート部」及び「セカンドオピニオン」のがん相談をとりまとめている。</li> <li>がん患者の就労支援として、社会保険労務士及び両立支援促進員による相談をそれぞれ月1回、ハローワーク就労支援員による相談を月1回～2回実施した。</li> </ul> <p>○がん相談支援センターの活動実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>917</td> <td>1,127</td> <td>1,018</td> </tr> <tr> <td>就労支援(がん)</td> <td>54</td> <td>89</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度から、がん患者や家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターによる支援を実施した。また、ほっとサロン学習会を2ヶ月ごとに開催する予定であったが、COVID-19の感染防止のため、実施しなかった。</li> </ul> <p>○ほっとサロン利用人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>250</td> <td>719</td> <td>750</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	外科的治療	1,299 (150)	1,200 (120)	1,319 (149)	外来がん化学療法	6,469	6,549	6,599	入院がん化学療法	2,601	2,634	2,925	放射線治療	471	445	427	項目/年度	2020	2021	2022	がん相談	917	1,127	1,018	就労支援(がん)	54	89	35	2020	2021	2022	250	719	750			
項目/年度	2020	2021	2022																																								
外科的治療	1,299 (150)	1,200 (120)	1,319 (149)																																								
外来がん化学療法	6,469	6,549	6,599																																								
入院がん化学療法	2,601	2,634	2,925																																								
放射線治療	471	445	427																																								
項目/年度	2020	2021	2022																																								
がん相談	917	1,127	1,018																																								
就労支援(がん)	54	89	35																																								
2020	2021	2022																																									
250	719	750																																									

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

--

中期目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び岐阜圏域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
------	--

項目No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																				
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>・治験実施件数、及び治験症例件数は前年を上回る実績となった。</p> <p>○治験 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>17</td> <td>35</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> <p>○臨床研究事業 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>129</td> <td>108</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な臨床研究事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠22週未満の前期破水例における人工羊水注入療法の意義と長期予後の検討</li> <li>・消化管腫瘍や消化管出血既往を有する患者におけるWATCHMAN デバイスを用いた経皮的左心耳閉鎖術の有用性の検討</li> </ul> </div> <p>2 大学等の研究機関や企業との共同研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県立看護大学との共同研究（小児関係）を継続した。</li> <li>・千葉大学との科研費を活用した共同研究（研究課題：早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する</li> </ul>	項目／年度	2020	2021	2022	治験実施件数	19	18	23	治験症例件数	17	35	39	項目／年度	2020	2021	2022	受託研究件数	129	108	140	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
項目／年度	2020	2021	2022																						
治験実施件数	19	18	23																						
治験症例件数	17	35	39																						
項目／年度	2020	2021	2022																						
受託研究件数	129	108	140																						

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																
			全国研究)を継続した。																		
07	※ 診療情報等の活用  1 電子カルテシステム等の更新  2 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データの有効活用  3 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用	2 電子カルテシステム等に蓄積された各種医療データの有効活用 ・医師が記載した電子カルテの診療記録について、記述内容等を診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、病理検査結果、内視鏡検査結果の患者への説明状況や画像診断結果の確認状況等を点検することにより、医療の安全と質の向上に努めた。また、医療画像の提供(8,069件)やぎふ清流ネットの活用により、病診連携の実現に努めた。 ・診療情報として蓄積されたDPCデータについては、多職種で構成する分析チームにより、分析ソフトによる解析とコンサルタントを活用した13診療科の分析を実施した。また、分析により指摘した事項について、半年後の定量的な評価を継続した。  ○分析報告会の実施状況とコンサルティング委託費用 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>分析報告会数</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>定量評価</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>委託費用 (千円)</td> <td>2,777</td> <td>2,999</td> <td>3,109</td> </tr> </tbody> </table>	項目	2020	2021	2022	分析報告会数	10	9	10	定量評価	○	○	○	委託費用 (千円)	2,777	2,999	3,109	1 電子カルテシステム等の更新 ・2023年1月に稼働を開始した新たな電子カルテシステムやその他の部門システムを有効活用し、医療情報等の標準化及び他医療機関との情報共有を実現し、医療安全、医療の質の向上等に寄与できるよう機能強化に努めた。  3 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 ・電子カルテ上の「退院サマリー」について、病歴管理システムにデータを連携・集計することにより医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」については、がん登録システムを連携させることにより、迅速かつ正確に全国がん登録及び院内がん登録のデータを作成し、それをもとに作成した統計・分析資料を院内外に公開した。 ・診療内容やカンファレンス等については、診療科・センター毎にホームページにて随時情報提供を行った。 ・QI活動では、日本病院会(指標数:52)、全国自治体病院協議会(指標数:38)、京都大学が研究しているQIP事業(指標数:154)に参加し、委員会での報告や院内の電子掲示板への公開によりフィードバック内容を共有した。	IV	院内分析チームにより診療情報を活用した分析報告会を多く実施していることに加え、QI活動の継続等の取組ができており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目	2020	2021	2022																		
分析報告会数	10	9	10																		
定量評価	○	○	○																		
委託費用 (千円)	2,777	2,999	3,109																		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの基幹又は連携施設として、専攻医の育成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																												
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 質の高い臨床研修医の養成等</p> <p>2 専攻医の育成等</p>		<p>1 質の高い臨床研修医の養成等 ・各診療科の研修指導医のもと、臨床研修医の養成を実施した。</p> <p>○初期臨床研修医と研修指導医数 (年度末時点) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期臨床研修医</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医 (歯科)</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>研修指導医</td> <td>89</td> <td>88</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 専攻医の育成等 ・専門医機構から基幹病院として認定された内科、小児科、整形外科において、その役割(研修プログラムの作成と運用)を果たした。</p> <p>○専攻医学会参加者数(延べ人数) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91</td> <td>85</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table> <p>○専攻医数(年度末時点) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>52</td> <td>42</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	初期臨床研修医	32	32	31	初期臨床研修医 (歯科)	2	2	1	研修指導医	89	88	89	2020	2021	2022	91	85	79	2020	2021	2022	52	42	40	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	2020	2021	2022																														
初期臨床研修医	32	32	31																														
初期臨床研修医 (歯科)	2	2	1																														
研修指導医	89	88	89																														
2020	2021	2022																															
91	85	79																															
2020	2021	2022																															
52	42	40																															

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																														
09	※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施  1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ  2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実		1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ ・県内医療従事者の育成を図るため、医学生をはじめ看護学生、コメディカルを目指す学生の実習等の受入を行った。  ○医学生の実習等受入状況（実人数） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生（実習）</td> <td>25</td> <td>42</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>医学生（病院見学）</td> <td>123</td> <td>151</td> <td>123</td> </tr> </tbody> </table> ○看護学生の実習受入状況（延べ人数） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護学生</td> <td>4,687</td> <td>6,490</td> <td>5,772</td> </tr> </tbody> </table> ○コメディカルの実習受入状況（実人数） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤部</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>リハビリ</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>中央放射線部</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>臨床工学部</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>栄養部</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>中央検査部</td> <td>32</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>病理部</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95</td> <td>86</td> <td>84</td> </tr> </tbody> </table> 2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実 ・救急救命士の病院実習や救急救命士取得のための臨床実習を受け入れた。  ○実習受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>31</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	医学生（実習）	25	42	56	医学生（病院見学）	123	151	123	項目／年度	2020	2021	2022	看護学生	4,687	6,490	5,772	項目／年度	2020	2021	2022	薬剤部	18	16	18	リハビリ	7	8	16	中央放射線部	15	15	14	臨床工学部	4	2	2	栄養部	2	4	4	中央検査部	32	25	25	病理部	17	16	5	合計	95	86	84	2020	2021	2022	25	31	48	Ⅲ	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
項目／年度	2020	2021	2022																																																																
医学生（実習）	25	42	56																																																																
医学生（病院見学）	123	151	123																																																																
項目／年度	2020	2021	2022																																																																
看護学生	4,687	6,490	5,772																																																																
項目／年度	2020	2021	2022																																																																
薬剤部	18	16	18																																																																
リハビリ	7	8	16																																																																
中央放射線部	15	15	14																																																																
臨床工学部	4	2	2																																																																
栄養部	2	4	4																																																																
中央検査部	32	25	25																																																																
病理部	17	16	5																																																																
合計	95	86	84																																																																
2020	2021	2022																																																																	
25	31	48																																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、岐阜圏域の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、医師派遣等の人的支援を含む診療支援を充実させ、県全体の医療の確保に努めること。 へき地医療拠点病院として、代診医師の派遣や巡回診療などへき地診療所等への支援機能を充実させること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による県全体の医療の確保</p> <p>3 へき地医療対策の支援</p>		<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オープン病床クリニカルミーティングは感染対策を考慮しハイブリッド形式にて開催した。院内外の多職種103名の参加があった。</li> <li>高度医療機器の共同利用は、COVID-19の影響から戻りつつあるが、上部内視鏡検査は予約方法を変更して診療科の受診後の利用としたため、減少した。</li> </ul> <p>○高度医療機器の共同利用実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>272</td> <td>318</td> <td>252</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>286</td> <td>309</td> <td>274</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	CT	272	318	252	MRI	286	309	274	III	医療機関からの要請に応じた人的支援がやや減少し、高度医療機器や開放型病床の利用状況も減少傾向であり、平年並みの実績と評価。
項目/年度	2020	2021	2022														
CT	272	318	252														
MRI	286	309	274														

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
			<table border="1" data-bbox="1171 252 1720 284"> <tr> <td>上部内視鏡検査</td> <td>57</td> <td>60</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>・ COVID-19の影響で開放型病床利用率はさらに減少した。</p> <p>○開放型病床の利用状況</p> <table border="1" data-bbox="1171 451 1765 555"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導 (単位:回/月)</td> <td>2.8</td> <td>6.0</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>病床利用率 (単位:%)</td> <td>37.1</td> <td>29.3</td> <td>14.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 母とこども医療センターの夜間・休日診療に4人、救命救急センターの夜間・休日診療に4人の勤務医・開業医が協力するとともに、各務原市医師会所属医師5人が小児輪番日において地域連携診療を実施した。</p> <p>○輪番制実施状況 <span style="float:right">単位:日</span></p> <table border="1" data-bbox="1171 786 1720 890"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>257</td> <td>249</td> <td>234</td> </tr> <tr> <td>内科・外科系</td> <td>66</td> <td>84</td> <td>72</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 岐阜県医師会が運用する「ぎふ清流ネット」に参加し、地域の医療機関に当センターの電子カルテ診療情報を提供した。</p> <p>○ぎふ清流ネット公開状況 (累計) <span style="float:right">単位:件</span></p> <table border="1" data-bbox="1171 1058 1720 1161"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関数</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>患者数</td> <td>220</td> <td>227</td> <td>238</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による県全体の医療の確保</p> <p>・ 県立下呂温泉病院や高山赤十字病院等に対して、診療上の人的支援を行った。</p>	上部内視鏡検査	57	60	5	項目/年度	2020	2021	2022	共同指導 (単位:回/月)	2.8	6.0	1.25	病床利用率 (単位:%)	37.1	29.3	14.7	項目/年度	2020	2021	2022	小児	257	249	234	内科・外科系	66	84	72	項目/年度	2020	2021	2022	医療機関数	13	13	13	患者数	220	227	238		
上部内視鏡検査	57	60	5																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																										
共同指導 (単位:回/月)	2.8	6.0	1.25																																										
病床利用率 (単位:%)	37.1	29.3	14.7																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																										
小児	257	249	234																																										
内科・外科系	66	84	72																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																										
医療機関数	13	13	13																																										
患者数	220	227	238																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																
			<p>○他の医療機関への人的支援の状況 (延べ人数) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む※1)</td> <td>888</td> <td>948</td> <td>675</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>県立多治見病院</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>国保津保川診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>国保洞戸診療所</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>国保久々野診療所※2</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>49</td> <td>46</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>976</td> <td>1,033</td> <td>803</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 後期研修医数に退職派遣した専攻医を含む。  ※2 岐阜県へき地医療支援機構依頼分</p> <p>3 へき地医療対策の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県へき地医療支援機構からの代診要請に対して対応可能な体制を確保し、依頼があった際には派遣を行った。</li> <li>新専門医制度による専門研修プログラムに基づき、一定期間下呂温泉病院に対して専攻医を退職派遣した。</li> </ul> <p>○下呂温泉病院への派遣状況 (延べ人数) 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種・年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科医 (※)</td> <td>730</td> <td>912</td> <td>639</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 後期研修医数や退職派遣した専攻医を含む。</p>	項目/年度	2020	2021	2022	県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む※1)	888	948	675	高山赤十字病院	14	14	58	下呂市立金山病院	12	12	12	県立多治見病院	1	1	4	国保津保川診療所	—	—	12	国保洞戸診療所	12	11	—	国保久々野診療所※2	—	1	1	郡上市民病院	49	46	41	合計	976	1,033	803	職種・年度	2020	2021	2022	内科医 (※)	730	912	639		
項目/年度	2020	2021	2022																																																		
県立下呂温泉病院 (後期研修医を含む※1)	888	948	675																																																		
高山赤十字病院	14	14	58																																																		
下呂市立金山病院	12	12	12																																																		
県立多治見病院	1	1	4																																																		
国保津保川診療所	—	—	12																																																		
国保洞戸診療所	12	11	—																																																		
国保久々野診療所※2	—	1	1																																																		
郡上市民病院	49	46	41																																																		
合計	976	1,033	803																																																		
職種・年度	2020	2021	2022																																																		
内科医 (※)	730	912	639																																																		
11	※ 社会的な要請への協力		<p>・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、社会的な要請に対し随時協力を行った。</p> <p>○大学等への派遣実績 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣</td> <td>37</td> <td>37</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣</td> <td>143</td> <td>141</td> <td>149</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣	37	37	43	岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣	143	141	149	Ⅲ	継続的に取組ができて いるが、平年並みの実績 と評価。																																				
項目/年度	2020	2021	2022																																																		
岐阜大学への講師(医師・歯科医師)派遣	37	37	43																																																		
岐阜県衛生専門学校への講師(医師・歯科医師)派遣	143	141	149																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由		
			岐阜県衛生専門学校への講師(看護師)派遣	61	62	61			
			各種学校への講師(看護師)派遣	7	10	15			
			金城学院大学への講師(薬剤師)派遣	1	1	1			
			岐阜医療科学大学への講師(薬剤師)派遣	1	1	0			
			岐阜医療科学大学への講師(臨床検査技師)派遣	1	1	1			
			岐阜県衛生専門学校への専門相談員(理学療法士)派遣	6	6	6			
			岐阜県衛生専門学校への専門相談員(臨床心理士)派遣	1	1	1			
			岐阜県衛生専門学校への講師(社会福祉士)派遣	5	5	5			
			○講師派遣の状況(上記以外) 単位:人						
			項目/年度	2020	2021	2022			
			医師	52	56	54			
			歯科医師	0	0	1			
			看護師	19	47	38			
			コ メ デ ィ カ ル	薬剤部	1	0	1		
				リハビリ	6	5	14		
				中央放射線部	0	0	0		
				臨床工学部	1	0	0		
				栄養部	0	0	0		
			中央検査部	0	1	9			
			合計	79	109	117			
12	※ 保健医療情報の提供・発信	2 保健医療、健康管理等の情報提供 ・広報誌「けんこう」及び地域医療連携誌「れんけい」に加え、	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 ・COVID-19の影響により、健康祭をWEB配信にて、			IV	コロナ禍における情報発信の取組みの継続や		

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																				
	1 公開講座、医療相談会等の定期的開催 2 保健医療、健康管理等の情報提供	<p>新たな広報誌「つなぐ」をそれぞれ2回発行した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プレス発表や取材協力等マスメディアを活用した情報発信を行った。</li> <li>コロナ禍での情報提供のあり方を検討し、WEBを中心とした疾患啓発を行うことで地域全体の新規患者を掘り起こすことを目的とした情報ネットワークの構築に向けて取り組みを継続した。</li> <li>上記の取り組みやCOVID-19関係の情報を迅速に公開すること等により、TOPページのアクセス数について高い数値を維持できた。</li> </ul> <p>○ホームページアクセス数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOP ページ</td> <td>363,560</td> <td>357,316</td> <td>357,836</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	TOP ページ	363,560	357,316	357,836	<p>「からだどころにやさしい医療」をテーマに、5つのセミナーをライブ形式で実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における公開講座として、皮膚疾患や小児アレルギー、胃がんや循環器疾患等をテーマとしたWEB配信での講座(6疾患)を実施した。</li> </ul> <p>○健康祭の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テーマ</td> <td></td> <td>健康寿命延伸</td> <td>やさしい医療</td> </tr> <tr> <td>参加者数(人)</td> <td></td> <td>84※</td> <td>85※</td> </tr> </tbody> </table> <p>※2021、2022年度は視聴者数</p>	項目/年度	2020	2021	2022	テーマ		健康寿命延伸	やさしい医療	参加者数(人)		84※	85※		WEB配信での健康祭の実施等、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	2020	2021	2022																						
TOP ページ	363,560	357,316	357,836																						
項目/年度	2020	2021	2022																						
テーマ		健康寿命延伸	やさしい医療																						
参加者数(人)		84※	85※																						

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期目標	<p>1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフや災害派遣医療チーム(以下「DMAT」という。)の派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受け入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは岐阜圏域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。岐阜県の基幹災害拠点病院として、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練(公開)を行うなど指導的役割を發揮すること。また、食料及び飲料水の優先納入体制の整備など災害時医療体制の充実・強化を図ること。</li> <li>他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、岐阜県の要請に基づきDMATを派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。</li> <li>被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画(BCP)の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。</li> <li>新型インフルエンザ等発生時における役割の發揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受け入れ、重症症例の治療等を行うこと。</li> </ul>
------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由												
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進	2 基幹災害拠点病院としての機能強化及び指導的役割の推進 ・例年、他病院と協力し、災害対策訓練時に被災情報等の情報共有訓練を併せて実施しているが、COVID-19の影響による災害対策訓練の自粛に伴い実施を見送った。次年度については、災害対策訓練を自粛する状況であっても、個別に代替訓練を実施する予定である。 ・事件現場における傷病者の発生に対し、応急的な治療を行うことで救命率を向上させるため、岐阜県警察と事件現場医療派遣チーム（IMAT）の運用に関する協定を継続した。	1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・例年、約200人規模の災害対策訓練を実施しているが、COVID-19の影響により大人数が密集して実施する机上訓練や災害対策訓練の実施を自粛したため、代替対応として、災害対策委員会の構成員及び各部局の管理者等を対象に、災害発生から1時間以内の初動対応に重点を置いた、災害対策講習会を実施した。  ○災害対策訓練の実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施日</td> <td>10/2</td> <td>9/10</td> <td>11/24</td> </tr> <tr> <td>参加者数（人）</td> <td>73</td> <td>1,264</td> <td>93</td> </tr> </tbody> </table> ※2020、2022年度は講習会を実施（特定の役職以上のみ対象） ※2021年度はWeb講習会（日付は配信開始日）	項目/年度	2020	2021	2022	実施日	10/2	9/10	11/24	参加者数（人）	73	1,264	93	IV	COVID-19の影響により、災害対策訓練は自粛したが、全国でも稀な事件現場での応急処置を対応するIMAT協定を継続しており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	2020	2021	2022														
実施日	10/2	9/10	11/24														
参加者数（人）	73	1,264	93														
14	※ 他県等の医療救護への協力 1 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 2 大規模災害発生時のDMATの派遣		1 大規模災害に対応するためのDMAT体制の確保と訓練・研修 ・大規模災害への対応を図るため、DMAT（3班）及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能の整備を図った。 ・中部ブロックDMAT技能維持研修に16人参加した。  2 大規模災害発生時のDMATの派遣 ・今年度はDMATの派遣要請はなかった。	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。												
15	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 2 診療情報のバックアップシステムの適正管理	2 診療情報のバックアップシステムの適正管理 ・大規模災害やシステム障害に備え、院内2カ所の電算室と遠隔地へバックアップを行っている診療情報データの適正な維持管理に努めた。また、各部署へ配備した診療情報参照用パソコン（ローカルSS-MIXストレージ）の適正な維持管理に努めた。	1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 ・例年、被災時において迅速に災害医療体制に移行できるよう「災害対策マニュアル」による災害対策訓練を行っているが、昨年度に引き続きCOVID-19の影響により実施できなかったため、代替措置として災害対応に関する講習会を実施した。	IV	遠隔地へのバックアップに加え、システム障害にも備えた体制が継続されており、項目全体として特に進捗していると評価。												
16	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・2020年2月に立ち上げたCOVID-19対策本部を継続	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・感染防止研修会の一環として、COVID-19に関する	IV	COVID-19の発生拡大に伴い、迅速かつ柔軟な受け入れ体制を継続しており、項												

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由				
	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備  2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施	<p>し、病院幹部と各部門責任者、感染対策部メンバーなどにて月2回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療・検査医療機関として、発熱外来を設置し発熱患者のトリアージを継続した。</li> <li>新型コロナウイルス感染症重点医療機関として、5階西病棟をCOVID-19患者専用病棟として確保することに加え、診療体制を患者数に応じたものに強化した。</li> </ul> <p>○COVID-19診療体制</p> <table border="1" data-bbox="555 549 1167 769"> <tr> <td data-bbox="555 549 703 675">基本チーム</td> <td data-bbox="703 549 1167 675">           リーダー(感染症内科 or 呼吸器内科)            医師1名(感染症内科 or 呼吸器内科)            専攻医2名(内科系・外科系)            循環器内科医師1名(ECMO対応)         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 675 703 769">拡充チーム</td> <td data-bbox="703 675 1167 769">           上記、基本チームの体制に加え、            専攻医1名(小児・産科系)            重症管理医師1名         </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>マスク・ガウン・消毒薬などの必要物資の調達・備蓄に努めた。</li> <li>通院中の外来患者、入院患者に対するCOVID-19ワクチン接種(ファイザー)に取り組んだ。また県からの依頼によりアストラゼネカ社製ワクチンの接種も実施し、ファイザー製ワクチンの接種ができない方でも接種できるよう対応した。</li> <li>COVID-19院内感染を未然に防止するため、職員からの発熱等の報告に対して迅速に対応する体制を整え、各部署から毎日就業制限者の報告を求め、状況把握に努めた。</li> <li>外来や病棟でCOVID-19陽性の患者や職員が出た際には、周囲の患者、職員の接触状況を聴取して集団検査を実施し、感染対策部の主導のもと、看護部、各診療科の医師、各部門・部署の所属長などが協力して行う体制を整備して、感染拡大を防止できた。</li> <li>院内職員及びその家族に対するCOVID-19ワクチンの接種を実施し、安全な医療を提供できる体制を整えた。</li> </ul>	基本チーム	リーダー(感染症内科 or 呼吸器内科) 医師1名(感染症内科 or 呼吸器内科) 専攻医2名(内科系・外科系) 循環器内科医師1名(ECMO対応)	拡充チーム	上記、基本チームの体制に加え、 専攻医1名(小児・産科系) 重症管理医師1名	<p>る情報などをオンデマンドにて配信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス院内対応マニュアル、SARS-CoV-2検査フローチャートを電子カルテサイボウズ上にアップし随時更新して、職員がいつでも学べるように整備した。</li> </ul>		<p>目全体として特に進捗していると評価。</p>
基本チーム	リーダー(感染症内科 or 呼吸器内科) 医師1名(感染症内科 or 呼吸器内科) 専攻医2名(内科系・外科系) 循環器内科医師1名(ECMO対応)								
拡充チーム	上記、基本チームの体制に加え、 専攻医1名(小児・産科系) 重症管理医師1名								

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>1-6 重症心身障がい児の入所施設の運営 岐阜県が推進する総合療育の拠点として、在宅で療養を行うことが困難な重症心身障がい児のうち、人工呼吸器装着など濃厚な医療的ケアを要する児を主な対象とする医療型障害児入所施設の運営の継続を求める。</p> <p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の充実 入所児に対し、訪問教育を実施する受入れ体制を維持すること。また、デイルーム、図書室兼遊戯室、機能訓練室、言語療養室などの各種施設・設備を活用した療育及び機能訓練プログラム等を行い、医療・療育体制の充実を図ること。</p> <p>※ 在宅医療支援体制の充実 レスパイトケア（障がい児を在宅でケアしている家族を癒すため、一時的にケアを代替し、リフレッシュを図ってもらう家族支援サービス）のための短期入所機能の維持を図ること。 入院障がい児の円滑な在宅移行を支援するため、家族に対する医療的ケア指導等の在宅移行に向けた訓練や、在宅医療・療育の相談などを実施すること。 在宅移行後の容体悪化や救急時に対応するための医療支援を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																				
17	<p>※ 医療的ケアが求められる障がい児の医療・療育体制の充実</p> <p>1 医療型障害児入所施設の運営の継続</p> <p>2 医療・療育体制の整備</p> <p>3 入所児への在宅移行又は転院に向けた支援の実施</p>		<p>1 医療型障害児入所施設の運営の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こども基本法の基本理念に沿って、家庭における重症心身障がい児の養育を支援し、保護者等に対して労力、技術、精神的な支援を行うと共に、家庭での養育が困難な児にはできる限り家庭と同様の養育環境を提供できるよう施設運営を進めた。</li> <li>長期入所として入所児に対し医療的ケア、生活支援及び療育を実施した。（年度末入所児（長期・有期）は合計7名（前年比△2））</li> <li>退院後に在宅で安心して生活できるよう家族がケア方法等を習得するための有期有目的入所（教育入所）として1名を受入れた。</li> </ul> <p>○入所者数の推移 <span style="float: right;">単位：人</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有期入所</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>教育入所</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>長期入所</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>措置入所</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	有期入所	4	4	5	教育入所	2	3	1	長期入所	3	4	5	措置入所	5	4	4	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
項目／年度	2020	2021	2022																						
有期入所	4	4	5																						
教育入所	2	3	1																						
長期入所	3	4	5																						
措置入所	5	4	4																						

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																			
			<p>・2フロア（すこやか棟3階、4階）を本格的に運用できる人員確保を目指したが達成できていない部分があるため、今後も医師、看護師、介護福祉士及び保育士について、更なる人員確保に努めていく。</p> <p>○人員体制の推移 <span style="float:right">単位：人</span></p> <table border="1" data-bbox="1200 451 1686 624"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>24</td> <td>23</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>保育士</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医療・療育体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所施設の各種施設・設備を活用し、医師、看護師、リハビリテーション技師、保育士、介護福祉士、管理栄養士等の連携による療育・機能訓練プログラムを実施した。</li> <li>・岐阜県立長良特別支援学校からの訪問教育では、授業や入学式等の学校行事が円滑に実施されるよう、医教連絡会議や月例連絡会議を実施するなど学校との連携を図り、積極的な支援に取り組んだ。 (小学部：4人、中学部：1人、高等部：1人)</li> </ul> <p>3 入所児への在宅移行又は転院に向けた支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所児の支援者会議等の中で在宅移行や転院の検討を行った。</li> </ul> <p>【支援者会議開催状況】</p> <table border="1" data-bbox="1220 1153 1765 1326"> <thead> <tr> <th></th> <th>支援者会議</th> <th>個別懇談</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長期入所児</td> <td>2回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>在宅移行(転院目的)</td> <td>3回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>在宅移行(教育入所)</td> <td>2回</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>有期入所児(要支援)</td> <td>2回</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	医師	4	4	4	看護師	24	23	27	介護福祉士	13	14	13	保育士	3	3	2		支援者会議	個別懇談	長期入所児	2回	1回	在宅移行(転院目的)	3回	1回	在宅移行(教育入所)	2回	—	有期入所児(要支援)	2回	—		
項目／年度	2020	2021	2022																																					
医師	4	4	4																																					
看護師	24	23	27																																					
介護福祉士	13	14	13																																					
保育士	3	3	2																																					
	支援者会議	個別懇談																																						
長期入所児	2回	1回																																						
在宅移行(転院目的)	3回	1回																																						
在宅移行(教育入所)	2回	—																																						
有期入所児(要支援)	2回	—																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																										
18	※ 在宅医療支援体制の充実  1 レスパイトケアのための短期入所施設の継続  2 家族に対する在宅医療指導等の実施  3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援	1 レスパイトケアのための短期入所施設の継続 ・重症心身障がい児（者）の在宅療養が増える傾向にあり、保護者等の介護の負担軽減と児（者）への良好な療養環境の提供を目指して、段階的に短期入所を増床して受入人数を増やした。加えて、COVID-19流行下の受入制限による影響も軽減されたことから、過去2年に比べ定員に対する利用率（入所率）も大幅に改善した。  ○短期入所定員数（空床利用型）の推移 <table border="1"> <tr> <td>2016.7～2017.10</td> <td>定員2人</td> </tr> <tr> <td>2017.11～2023.1</td> <td>定員3人</td> </tr> <tr> <td>2023.2～2023.4</td> <td>定員4人</td> </tr> </table> ○短期入所施設の利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約者数</td> <td>92人</td> <td>97人</td> <td>106人</td> </tr> <tr> <td>利用延人員</td> <td>97人</td> <td>123人</td> <td>172人</td> </tr> <tr> <td>利用延日数</td> <td>465日</td> <td>541日</td> <td>809日</td> </tr> <tr> <td>利用率</td> <td>42.5%</td> <td>49.4%</td> <td>70.1%</td> </tr> <tr> <td>予約率</td> <td>85.5%</td> <td>78.7%</td> <td>82.4%</td> </tr> </tbody> </table>	2016.7～2017.10	定員2人	2017.11～2023.1	定員3人	2023.2～2023.4	定員4人	項目/年度	2020	2021	2022	契約者数	92人	97人	106人	利用延人員	97人	123人	172人	利用延日数	465日	541日	809日	利用率	42.5%	49.4%	70.1%	予約率	85.5%	78.7%	82.4%	2 家族に対する在宅医療指導等の実施 ・重症心身障がい児の在宅移行に向けて、家族の障がいの受容や在宅療育に必要な技術等を指導するための教育入所用居室2室の確保や指導マニュアルの作成等、受入体制を整えた。 ・在宅生活を支援する地域の医療機関や福祉サービス事業者等との連携会議を1回開催され、在宅医療指導等実施施設として参加し、在宅移行への課題を解決して円滑な在宅移行を達成することができた。  ○教育入所受入数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>延べ日数</td> <td>126日</td> <td>143日</td> <td>67日</td> </tr> </tbody> </table> 3 在宅移行後の容体悪化等に対する医療支援 ・在宅移行後の容体悪化等に対しては、かかりつけ医療機関への受診及び当センターでの救急医療や入院治療等の体制を整備しており、安心して在宅生活が出来るよう医療支援ができた。	項目/年度	2020	2021	2022	実人数	2人	3人	1人	延べ日数	126日	143日	67日	IV	在宅療養の増加を踏まえ、ニーズに応じて短期入所定員数を段階的に増やす等、項目全体として特に進捗していると評価。
2016.7～2017.10	定員2人																																														
2017.11～2023.1	定員3人																																														
2023.2～2023.4	定員4人																																														
項目/年度	2020	2021	2022																																												
契約者数	92人	97人	106人																																												
利用延人員	97人	123人	172人																																												
利用延日数	465日	541日	809日																																												
利用率	42.5%	49.4%	70.1%																																												
予約率	85.5%	78.7%	82.4%																																												
項目/年度	2020	2021	2022																																												
実人数	2人	3人	1人																																												
延べ日数	126日	143日	67日																																												

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立 自主性・効率性・透明性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 組織体制の充実 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ICT（情報通信技術）などの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営効率の高い業務執行体制の充実を図ること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 医療需要の動向や経営状況の変化に迅速かつ的確に対応することができるよう、職員配置の在り方を検証し、弾力的に運用すること。 また、常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの運用 人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めること。
	※ 事務部門の専門性の向上 事務部門において、病院特有の事務に精通した職員の確保及び育成により、専門性の向上を図ること。
	※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理 職員の情報セキュリティに対する意識向上やセキュリティ監視機能の充実・強化等、情報セキュリティ対策に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
19	※ 組織体制の充実  1 組織体制の充実  2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進  3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実		1 組織体制の充実 ・医師事務作業補助者の処遇改善や人員配置の仕組み作りにより、体制の充実を図った。 ・医事課内に診療報酬対策室を設置することで、精度の高いレセプト作成、院内での研修を行える体制を整えた。  2 アウトソーシングの導入等による合理化の推進 ・施設管理部門（設備管理、清掃、防災他）、情報システム関連部門や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを必要とする部門について、アウトソーシングを継続し、業務の合理化を図った。 ・入院セット提供業務及びCOVID-19感染防止の方策として実施していた病院正面玄関における検温業務を継続し、業務の効率化を図った。 ・医事業務のうち入院診療費算定業務については、精度を高めることを目的として一部委託業務から派遣業務に切り替えを行い、直接業務管理を継続した。	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																
			<ul style="list-style-type: none"> <li>導入したアウトソーシングについては、必要に応じて委託内容や方法の見直しを実施した。</li> <li>3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実</li> <li>人事給与システムの活用や旅費計算ソフトにより、業務の効率化を図った。</li> <li>2021年4月に稼働開始した新人事給与システムにて、専用回線を利用したセキュリティの向上や給与計算等の処理時間の短縮を図った。また、職員の勤怠管理を適正に行うため、勤怠管理システム（タイムレコーダー）を継続した。</li> <li>COVID-19に対応するため、各種研修会をオンデマンド形式で配信することができるシステムや小規模な会議等に対応できるオンライン会議システムを活用した。</li> <li>定年を迎えた事務職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用及び定年延長し、質の高い業務執行に努めた。</li> </ul> <p>○事務職員再雇用職員数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再雇用</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>定年延長</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子カルテシステム等の更新に合わせ、RPAを導入した。</li> </ul>	項目/年度	2020	2021	2022	再雇用	8	8	8	定年延長	0	1	1	合計	8	9	9		
項目/年度	2020	2021	2022																		
再雇用	8	8	8																		
定年延長	0	1	1																		
合計	8	9	9																		
20	<p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用</p> <p>1 人員配置の検証及び弾力的運用</p> <p>2 効果的な体制による医療の提供</p>	<p>1 人員配置の検証及び弾力的運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2015年度をベースとした各職種の職員1人あたりの医業収入推移を検証し、医療需要と経営状況のバランスを検討した上で、各職種の人員配置を弾力的に行った。</li> </ul>	<p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師から医師事務作業補助者にタスク・シフトする具体的な業務の検討を行った。また、医師事務作業補助者数の定着に向け、処遇改善や人員配置のバックアップ体制を整えた。</li> <li>総合サポートセンターに引続き2名の医師事務作業補助者を配置し、入院診療に必要な代行オーダの入力等、医</li> </ul>	IV	COVID-19 専用病棟に重症患者を受け入れるための人員を柔軟に配置していることに加え、補助者による業務のタスク・シフトが進められており、項目全体で特に進捗していると評																

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																								
		<p>○各職種の職員1人あたりの医業収入 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>98.1</td> <td>107.3</td> <td>105.4</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>95.1</td> <td>102.1</td> <td>105.1</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>114.9</td> <td>113.2</td> <td>110.4</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>81.7</td> <td>94.7</td> <td>93.2</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>81.5</td> <td>80.8</td> <td>74.8</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>78.2</td> <td>77.7</td> <td>71.7</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>114.0</td> <td>106.9</td> <td>97.3</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>38.3</td> <td>41.5</td> <td>31.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※数値は2015年度をベースとした伸び率</p> <p>・COVID-19専用病棟に対して、岐阜圏域のフェーズに応じて他部署の医師や看護師を柔軟に配置した。</p>	項目/年度	2020	2021	2022	医師	98.1	107.3	105.4	看護師	95.1	102.1	105.1	薬剤師	114.9	113.2	110.4	臨床検査技師	81.7	94.7	93.2	放射線技師	81.5	80.8	74.8	リハビリ技師	78.2	77.7	71.7	管理栄養士	114.0	106.9	97.3	臨床工学技士	38.3	41.5	31.8	<p>師が実施していた業務のタスク・シフトを図った。</p> <p>○医師・看護師事務作業補助者数(年度末時点) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>55</td> <td>61</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>病棟外来看護事務</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>看護助手</td> <td>71</td> <td>71</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>152</td> <td>156</td> <td>145</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	医療クラーク	55	61	52	病棟外来看護事務	26	24	26	看護助手	71	71	67	合計	152	156	145		<p>価。</p>
項目/年度	2020	2021	2022																																																										
医師	98.1	107.3	105.4																																																										
看護師	95.1	102.1	105.1																																																										
薬剤師	114.9	113.2	110.4																																																										
臨床検査技師	81.7	94.7	93.2																																																										
放射線技師	81.5	80.8	74.8																																																										
リハビリ技師	78.2	77.7	71.7																																																										
管理栄養士	114.0	106.9	97.3																																																										
臨床工学技士	38.3	41.5	31.8																																																										
項目/年度	2020	2021	2022																																																										
医療クラーク	55	61	52																																																										
病棟外来看護事務	26	24	26																																																										
看護助手	71	71	67																																																										
合計	152	156	145																																																										
21	<p>※ 人事評価システムの運用</p> <p>1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用</p>	<p>1 人事評価システムによる公平かつ客観的な人事制度の運用</p> <p>・人事評価システムにより職員の業績、職務能力、職責等を公正に評価し、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度の運用に努めた。</p> <p>・目標評価については、目標の困難度と達成度を判定することにより、公平かつ客観的な評価を図った。また、6月支給の勤勉手当において、目標評価の成績優秀者にはその結果を手当に反映した。</p>		IV	<p>評価に応じて手当を支給する等、職員の意欲が引き出される公平かつ客観的な人事制度が運用できていると評価。</p>																																																								
22	<p>※ 事務部門の専門性の向上</p> <p>1 事務部門職員の確保及び育成</p>	<p>1 事務部門職員の確保及び育成</p> <p>・専門性の向上のため、職務に関連する研修の実施や資格取得を支援する「事務局職員人材育成計画」に沿って、医療経営士の資格取得に向けた研修を受講させた。</p> <p>○事務職員の状況(年度末時点) 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>67</td> <td>67</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>うち、診療情報管理士</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>うち、医療経営士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>うち、院内がん登録実務</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	プロパー職員	67	67	67	うち、診療情報管理士	10	9	9	うち、医療経営士	2	2	2	うち、院内がん登録実務	2	2	2		IV	<p>病院運営や専門的な知識を有するプロパー職員の育成や人材育成計画の遂行等、特に進捗していると評価。</p>																																				
項目/年度	2020	2021	2022																																																										
プロパー職員	67	67	67																																																										
うち、診療情報管理士	10	9	9																																																										
うち、医療経営士	2	2	2																																																										
うち、院内がん登録実務	2	2	2																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																								
		<table border="1"> <tr> <td>中級認定者</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>70</td> <td>69</td> <td>69</td> </tr> </table>	中級認定者				県派遣職員	3	2	2	合計	70	69	69															
中級認定者																													
県派遣職員	3	2	2																										
合計	70	69	69																										
23	※ コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底  1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底	1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 ・新規採用職員に対して個人情報保護に関する研修を行った。 ・全職員を対象にした個人情報保護に関する研修をオンデマンド形式で複数回実施し、トータルで1,192人が参加した。 ・医療倫理に関する研修をオンデマンド形式で配信し、1,415人の職員の参加を得た。  ○各種研修受講延べ数 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個人情報保護</td> <td>1,055</td> <td>996</td> <td>1,192</td> </tr> <tr> <td>医療倫理</td> <td>1,380</td> <td>1,430</td> <td>1,415</td> </tr> </tbody> </table> ・監事監査(隔月実施)、会計監査人監査(年4回実施)及び内部監査の実施により、コンプライアンスを徹底した。 ・患者や家族からの請求による個人情報の開示を適切に行った。  ○カルテ開示請求・開示件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>185</td> <td>244</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>180</td> <td>234</td> <td>223</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	個人情報保護	1,055	996	1,192	医療倫理	1,380	1,430	1,415	項目/年度	2020	2021	2022	請求件数	185	244	226	開示件数	180	234	223		IV	個人情報や医療倫理に関する研修をオンデマンドで配信し、多くの職員の参加を得ており、特に進捗していると評価。
項目/年度	2020	2021	2022																										
個人情報保護	1,055	996	1,192																										
医療倫理	1,380	1,430	1,415																										
項目/年度	2020	2021	2022																										
請求件数	185	244	226																										
開示件数	180	234	223																										
24	※ 適切な情報管理  1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等  2 情報セキュリティに対する意識向上		1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 ・情報セキュリティ監視機能として、情報ネットワークのセキュリティ対策、USBメモリ等のデバイス制御、メールのウィルスチェック等のセキュリティ対策の適正な維持・管理を行った。  2 情報セキュリティに対する意識向上 ・新規採用職員に対する情報セキュリティ研修を実施する	III	継続的に取組ができていますが、平年並みの実績と評価。																								

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			とともに、「情報セキュリティ通信」及び情報セキュリティに関する周知文書を随時発行することにより全職員への啓発を行い、情報セキュリティ意識の向上を図った。		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

中期 目標	<p>2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。</p> <p>※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。</p> <p>※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、未収金の発生防止や早期回収等により、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。</p> <p>※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
25	<p>※ 多様な契約手法の導入</p> <p>1 調達効率化及び適正な契約事務の実施</p>	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営分析等を行うことで、薬品や診療材料の購入価格や委託業務の複数年契約等の経営改善すべき点の把握に努め、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。</li> <li>・複数メーカーの機種選定を勧め、ベンチマークを利用した交渉による医療機器の購入を行い、当初の予定金額より年間約6千万円のコスト削減ができた。</li> <li>・診療材料について、ベンチマークを活用して新規採用品目の価格を抑えるとともに、既存使用品目も継続して価格交渉を行い、節減効果を維持した。</li> <li>・医薬品について、経費圧縮等に関するアドバイザーの活用によ</li> </ul>		IV	複数メーカーによる機種選定やベンチマークを活用した価格交渉等によるコスト削減が実施できており、特に進捗していると評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																								
		<p>り、継続的な価格交渉を行い、経費削減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>複数年契約が終了する一部の業務委託において、その評価を行うとともに、経営的にメリットのある契約手法を検討し、次期契約の締結を行った。</li> </ul> <p>○複数年契約の推移 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>契約数</td> <td>16</td> <td>21</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	契約数	16	21	36																																																																			
項目/年度	2020	2021	2022																																																																										
契約数	16	21	36																																																																										
26	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効果的な病床管理及び医療機器の効率的な活用</p> <p>2 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理</p> <p>3 未収金の発生防止対策等</p> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <p>5 効率的な資金運用</p>	<p>2 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療支援病院入院診療加算（紹介率：50%以上、逆紹介率：70%以上）の算定基準（要件）を大幅に超えることができた。</li> <li>DPC特定病院群の各種要件（診療密度、外保連指数、内保連疾患割合）について、毎月状況を確認し、各数値の維持に努めた。</li> </ul> <p>○各種指標の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>70.0%</td> <td>71.9%</td> <td>67.2</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>97.6%</td> <td>110.5%</td> <td>107.9</td> </tr> <tr> <td>診療密度</td> <td>1,329.9</td> <td>1,427.4</td> <td>1,378.9</td> </tr> <tr> <td>外保連指数</td> <td>15.52</td> <td>15.53</td> <td>15.63</td> </tr> <tr> <td>内保連疾患割合</td> <td>2.4%</td> <td>3.1%</td> <td>2.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 未収金の発生防止対策等 ＜発生防止＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院説明の際に、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明などを行った。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。</li> <li>救急搬送患者に対しては、医療相談員が身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額の患者負担額とならないよう努めた。</li> <li>出産に伴う入院費については、出産一時金直接払制度を利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案につい</li> </ul>	項目/年度	2020	2021	2022	紹介率	70.0%	71.9%	67.2	逆紹介率	97.6%	110.5%	107.9	診療密度	1,329.9	1,427.4	1,378.9	外保連指数	15.52	15.53	15.63	内保連疾患割合	2.4%	3.1%	2.8%	<p>1 効果的な病床管理及び医療機器の効率的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病床管理部を中心として適切な病床管理による病床利用率の向上に努めたが、COVID-19による入院制限等により、病床利用率の目標値（87%）は達成できなかった。</li> </ul> <p>○収入関係数値</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">外来</td> <td>患者数（人）</td> <td>310,685</td> <td>335,788</td> <td>345,196</td> </tr> <tr> <td>平均患者数（人/日）</td> <td>1,279</td> <td>1,388</td> <td>1,421</td> </tr> <tr> <td>診療額（百万円）</td> <td>5,918</td> <td>6,445</td> <td>6,624</td> </tr> <tr> <td>診療単価（円/日）</td> <td>19,050</td> <td>19,194</td> <td>19,189</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入院</td> <td>患者数（人）</td> <td>173,389</td> <td>184,225</td> <td>178,114</td> </tr> <tr> <td>平均患者数（人/日）</td> <td>475</td> <td>505</td> <td>480</td> </tr> <tr> <td>診療額（百万円）</td> <td>15,324</td> <td>17,223</td> <td>17,090</td> </tr> <tr> <td>診療単価（円/日）</td> <td>88,379</td> <td>93,486</td> <td>95,953</td> </tr> <tr> <td>在院日数（日）</td> <td>11.6</td> <td>11.3</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">病床利用率（%）</td> <td>76.6</td> <td>81.4</td> <td>78.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※病床利用率 分子：延べ入院患者数（＝各24時時点の在院患者数＋退院患者数） 分母：運用病床数×日数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録医からのFAXによるMRI、CT、胃カメラ等の検査予約を実施した。</li> </ul>			2020	2021	2022	外来	患者数（人）	310,685	335,788	345,196	平均患者数（人/日）	1,279	1,388	1,421	診療額（百万円）	5,918	6,445	6,624	診療単価（円/日）	19,050	19,194	19,189	入院	患者数（人）	173,389	184,225	178,114	平均患者数（人/日）	475	505	480	診療額（百万円）	15,324	17,223	17,090	診療単価（円/日）	88,379	93,486	95,953	在院日数（日）	11.6	11.3	10.6	病床利用率（%）		76.6	81.4	78.7	IV	未収金回収や各種施設基準の要件確認が確実に実施できたことに加え、安定した債券による利息が獲得できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目/年度	2020	2021	2022																																																																										
紹介率	70.0%	71.9%	67.2																																																																										
逆紹介率	97.6%	110.5%	107.9																																																																										
診療密度	1,329.9	1,427.4	1,378.9																																																																										
外保連指数	15.52	15.53	15.63																																																																										
内保連疾患割合	2.4%	3.1%	2.8%																																																																										
		2020	2021	2022																																																																									
外来	患者数（人）	310,685	335,788	345,196																																																																									
	平均患者数（人/日）	1,279	1,388	1,421																																																																									
	診療額（百万円）	5,918	6,445	6,624																																																																									
	診療単価（円/日）	19,050	19,194	19,189																																																																									
入院	患者数（人）	173,389	184,225	178,114																																																																									
	平均患者数（人/日）	475	505	480																																																																									
	診療額（百万円）	15,324	17,223	17,090																																																																									
	診療単価（円/日）	88,379	93,486	95,953																																																																									
	在院日数（日）	11.6	11.3	10.6																																																																									
病床利用率（%）		76.6	81.4	78.7																																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																										
		<p>ては、医療相談員が早期に介入し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。</p> <p>&lt;回収&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月2回、定期に督促状を發布し、早期に未収金回収に着手した。</li> <li>督促状發布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。</li> <li>未納者が受診した際には、面談による納付催告を実施した。</li> <li>回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。</li> <li>診療費を分納により支払っている患者について、2020年8月より直接納付から金融機関口座振替への切替を進める取り組みを継続し、確実な収納に努めた。</li> </ul> <p>○回収実績（年度末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累積委託金額 (単位：千円)</td> <td>199,628</td> <td>201,662</td> <td>205,233</td> </tr> <tr> <td>累積回収金額 (単位：千円)</td> <td>91,071</td> <td>94,062</td> <td>96,006</td> </tr> <tr> <td>累積回収率 (単位：%)</td> <td>45.6</td> <td>46.6</td> <td>46.8</td> </tr> <tr> <td>単年度回収金額 (単位：千円)</td> <td>5,766</td> <td>2,986</td> <td>1,943</td> </tr> </tbody> </table> <p>○未収金発生状況（翌年度5月末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">2020</th> <th colspan="2">2021</th> <th colspan="2">2022</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> <th>件数</th> <th>金額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>348</td> <td>42,633</td> <td>289</td> <td>38,748</td> <td>386</td> <td>24,469</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>232</td> <td>15,183</td> <td>281</td> <td>22,686</td> <td>332</td> <td>41,398</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>580</td> <td>57,816</td> <td>570</td> <td>61,434</td> <td>718</td> <td>65,867</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 効率的な資金運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金利の動向や保有資金の状況から、今年度は新たな債券の購入</li> </ul>	項目/年度	2020	2021	2022	累積委託金額 (単位：千円)	199,628	201,662	205,233	累積回収金額 (単位：千円)	91,071	94,062	96,006	累積回収率 (単位：%)	45.6	46.6	46.8	単年度回収金額 (単位：千円)	5,766	2,986	1,943		2020		2021		2022		件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	過年度分	348	42,633	289	38,748	386	24,469	現年度分	232	15,183	281	22,686	332	41,398	合計	580	57,816	570	61,434	718	65,867	<p>○FAXによる検査予約実績 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>794</td> <td>863</td> <td>531</td> </tr> </tbody> </table> <p>○検査件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度/項目</th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MRI 外来</th> <th>MRI 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020</td> <td>34,281</td> <td>6,247</td> <td>12,168</td> <td>1,991</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>36,732</td> <td>6,669</td> <td>12,304</td> <td>1,680</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>35,665</td> <td>7,160</td> <td>12,675</td> <td>1,508</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組を継続した。</li> </ul> <p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率 (単位：%)</td> <td>69.3</td> <td>73.5</td> <td>73.5</td> </tr> <tr> <td>件数 (単位：件)</td> <td>6,906</td> <td>7,433</td> <td>7,602</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>他院とのベンチマークや医療安全の観点から、外科の術後患者をICU経由とすることなどにより、ICUの稼働率がさらに向上した。</li> </ul> <p>○ICU稼働率・算定率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>78.2</td> <td>99.5</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>算定率</td> <td>70.6</td> <td>75.7</td> <td>82.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬改定にて新設された急性期充実体制加算や感染対策向上加算をはじめとする施設基準について、関係部署と連携を取り迅速に届出を行うことができた。</li> </ul>	項目/年度	2020	2021	2022	FAX 予約	794	863	531	年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	2020	34,281	6,247	12,168	1,991	2021	36,732	6,669	12,304	1,680	2022	35,665	7,160	12,675	1,508	項目/年度	2020	2021	2022	稼働率 (単位：%)	69.3	73.5	73.5	件数 (単位：件)	6,906	7,433	7,602	項目/年度	2020	2021	2022	稼働率	78.2	99.5	100.1	算定率	70.6	75.7	82.2		
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																												
累積委託金額 (単位：千円)	199,628	201,662	205,233																																																																																																												
累積回収金額 (単位：千円)	91,071	94,062	96,006																																																																																																												
累積回収率 (単位：%)	45.6	46.6	46.8																																																																																																												
単年度回収金額 (単位：千円)	5,766	2,986	1,943																																																																																																												
	2020		2021		2022																																																																																																										
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)																																																																																																									
過年度分	348	42,633	289	38,748	386	24,469																																																																																																									
現年度分	232	15,183	281	22,686	332	41,398																																																																																																									
合計	580	57,816	570	61,434	718	65,867																																																																																																									
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																												
FAX 予約	794	863	531																																																																																																												
年度/項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																																																																																																											
2020	34,281	6,247	12,168	1,991																																																																																																											
2021	36,732	6,669	12,304	1,680																																																																																																											
2022	35,665	7,160	12,675	1,508																																																																																																											
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																												
稼働率 (単位：%)	69.3	73.5	73.5																																																																																																												
件数 (単位：件)	6,906	7,433	7,602																																																																																																												
項目/年度	2020	2021	2022																																																																																																												
稼働率	78.2	99.5	100.1																																																																																																												
算定率	70.6	75.7	82.2																																																																																																												

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																								
		又は保有債券の売却は行わず、現状維持とした。保有している債券から発生した今年度の利息は、約8千万円だった。																																											
27	※ 費用の削減  1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底  2 後発医薬品等の使用促進  3 経費の削減	1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 ・医薬品については、アドバイザー活用による情報収集により価格交渉を実施し、年間薬価差益が約2億9千万円となった。 ・診療材料については、ベンチマークを活用して価格交渉を実施し、当初の予定金額より年間約3,300万円のコスト削減ができた。 ・各部署における診療材料の定数配置について、継続的に品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。  ○医薬収益に対する材料費比率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>材料比率 ※1</td> <td>30.4</td> <td>30.9</td> <td>30.7</td> </tr> <tr> <td>(内 薬品費)</td> <td>16.2</td> <td>16.2</td> <td>16.4</td> </tr> <tr> <td>(内 診療材料費)</td> <td>14.2</td> <td>14.6</td> <td>14.3</td> </tr> </tbody> </table> ※1 重症心身障がい児施設を除く	項目／年度	2020	2021	2022	材料比率 ※1	30.4	30.9	30.7	(内 薬品費)	16.2	16.2	16.4	(内 診療材料費)	14.2	14.6	14.3	2 後発医薬品等の使用促進 ・先発医薬品から後発医薬品に、院内コンセンサスを得ながら切替えを促進した。 ・院外処方箋については、医師に一般名処方の利用を啓発し、薬局での後発医薬品の使用促進に寄与した。  ○後発医薬品関連の数値 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率 ※</td> <td>87.7</td> <td>87.8</td> <td>87.7</td> </tr> <tr> <td>一般名処方率</td> <td>12.4</td> <td>16.2</td> <td>18.8</td> </tr> </tbody> </table> ※：[後発医薬品の数量] / ([後発医薬品のある先発医薬品の数量] + [後発医薬品の数量])  3 経費の削減 ・電気使用量の削減を目的に、本館1階アトリウム、本館3階手術室、管理棟事務室等のLED化を行った。 ・無駄な電気利用を抑制するため、空調・照明の管理スケジュールの変更、空調の温度設定の見直し等の体系的な対応を行うとともに、職員に対して節電対策の啓発を行った。  ○経費関連数値の年度推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経費率 (単位：％)</td> <td>15.8</td> <td>15.2</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>光熱水費 (単位：百万円)</td> <td>322</td> <td>359</td> <td>636</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	後発医薬品使用率 ※	87.7	87.8	87.7	一般名処方率	12.4	16.2	18.8	項目／年度	2020	2021	2022	経費率 (単位：％)	15.8	15.2	16.7	光熱水費 (単位：百万円)	322	359	636	IV	経費圧縮に関するアドバイザーを活用し、医薬品等の価格交渉を継続的に実施していることに加え、その他の項目も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目／年度	2020	2021	2022																																										
材料比率 ※1	30.4	30.9	30.7																																										
(内 薬品費)	16.2	16.2	16.4																																										
(内 診療材料費)	14.2	14.6	14.3																																										
項目／年度	2020	2021	2022																																										
後発医薬品使用率 ※	87.7	87.8	87.7																																										
一般名処方率	12.4	16.2	18.8																																										
項目／年度	2020	2021	2022																																										
経費率 (単位：％)	15.8	15.2	16.7																																										
光熱水費 (単位：百万円)	322	359	636																																										

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期 目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、経常収支比率100%以上を達成すること。 医業収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め達成すること。
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																				
28	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率50%以下を達成する。		中期計画上の取組を確実に実施し、業務運営の改善及び効率化を進めたことにより、経常収支比率98.8%、医業収支比率106.1%、職員給与費対医業収益比率51.7%となり、医業収支比率において目標を達成することができた。  ○経常収支比率・医業収支比率・職員給与費対医業収益比率 単位：％ <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>97.8</td> <td>102.8</td> <td>98.8</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率 ※</td> <td>103.0</td> <td>108.3</td> <td>106.1</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益比率(人件費比率) ※</td> <td>54.2</td> <td>49.6</td> <td>51.7</td> </tr> </tbody> </table> ※重症心身障がい児施設を除く  ○決算(2022年度) 単位：百万円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>27,494</td> <td>26,994</td> <td>▲500</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>25,107</td> <td>23,912</td> <td>▲1,195</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,631</td> <td>1,678</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>    重症心身障がい児施設収益</td> <td>176</td> <td>143</td> <td>▲33</td> </tr> <tr> <td>    その他営業収益</td> <td>579</td> <td>1,259</td> <td>680</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>201</td> <td>216</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>82</td> <td>91</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>    その他営業外収益</td> <td>119</td> <td>125</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>  資本収入</td> <td>856</td> <td>2,366</td> <td>1,510</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td>240</td> <td>1,647</td> <td>1,407</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金</td> <td>565</td> <td>694</td> <td>129</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	経常収支比率	97.8	102.8	98.8	医業収支比率 ※	103.0	108.3	106.1	職員給与費対医業収益比率(人件費比率) ※	54.2	49.6	51.7	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	27,494	26,994	▲500	医業収益	25,107	23,912	▲1,195	運営費負担金収益	1,631	1,678	47	重症心身障がい児施設収益	176	143	▲33	その他営業収益	579	1,259	680	営業外収益	201	216	15	運営費負担金収益	82	91	9	その他営業外収益	119	125	6	資本収入	856	2,366	1,510	長期借入金	240	1,647	1,407	運営費負担金	565	694	129	III	経常収支比率98.8%、医業収支比率106.1%、職員給与費対医業収益比率51.7%と、原油価格高騰による光熱水費増の中、医業収支比率は達成できたため、平年並みの実績と評価。
項目/年度	2020	2021	2022																																																																						
経常収支比率	97.8	102.8	98.8																																																																						
医業収支比率 ※	103.0	108.3	106.1																																																																						
職員給与費対医業収益比率(人件費比率) ※	54.2	49.6	51.7																																																																						
区 分	計画額	決算額	増減																																																																						
収入																																																																									
営業収益	27,494	26,994	▲500																																																																						
医業収益	25,107	23,912	▲1,195																																																																						
運営費負担金収益	1,631	1,678	47																																																																						
重症心身障がい児施設収益	176	143	▲33																																																																						
その他営業収益	579	1,259	680																																																																						
営業外収益	201	216	15																																																																						
運営費負担金収益	82	91	9																																																																						
その他営業外収益	119	125	6																																																																						
資本収入	856	2,366	1,510																																																																						
長期借入金	240	1,647	1,407																																																																						
運営費負担金	565	694	129																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由																																																																																				
			<table border="1" data-bbox="1198 252 1769 901"> <tr> <td>その他資本収入</td> <td>50</td> <td>25</td> <td>▲25</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28,552</td> <td>29,582</td> <td>1,030</td> </tr> <tr> <td colspan="4">支出</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>24,948</td> <td>25,132</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>  医業費用</td> <td>24,099</td> <td>24,292</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>11,349</td> <td>11,792</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>    材料費</td> <td>8,328</td> <td>8,074</td> <td>▲254</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>4,300</td> <td>4,293</td> <td>▲7</td> </tr> <tr> <td>    研究研修費</td> <td>120</td> <td>131</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>  重症心身障がい児 施設費用</td> <td>426</td> <td>436</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>423</td> <td>402</td> <td>▲21</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>371</td> <td>359</td> <td>▲12</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>52</td> <td>42</td> <td>▲10</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>134</td> <td>133</td> <td>▲1</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>6,087</td> <td>6,744</td> <td>657</td> </tr> <tr> <td>  建設改良費</td> <td>3,841</td> <td>4,385</td> <td>544</td> </tr> <tr> <td>  償還金</td> <td>924</td> <td>922</td> <td>▲2</td> </tr> <tr> <td>  その他資本支出</td> <td>1,321</td> <td>1,436</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,170</td> <td>32,015</td> <td>845</td> </tr> </table>				その他資本収入	50	25	▲25	その他の収入	0	4	4	計	28,552	29,582	1,030	支出				営業費用	24,948	25,132	184	医業費用	24,099	24,292	193	給与費	11,349	11,792	443	材料費	8,328	8,074	▲254	経費	4,300	4,293	▲7	研究研修費	120	131	11	重症心身障がい児 施設費用	426	436	10	一般管理費	423	402	▲21	給与費	371	359	▲12	経費	52	42	▲10	営業外費用	134	133	▲1	資本支出	6,087	6,744	657	建設改良費	3,841	4,385	544	償還金	924	922	▲2	その他資本支出	1,321	1,436	115	その他の支出	0	4	4	計	31,170	32,015	845		
その他資本収入	50	25	▲25																																																																																									
その他の収入	0	4	4																																																																																									
計	28,552	29,582	1,030																																																																																									
支出																																																																																												
営業費用	24,948	25,132	184																																																																																									
医業費用	24,099	24,292	193																																																																																									
給与費	11,349	11,792	443																																																																																									
材料費	8,328	8,074	▲254																																																																																									
経費	4,300	4,293	▲7																																																																																									
研究研修費	120	131	11																																																																																									
重症心身障がい児 施設費用	426	436	10																																																																																									
一般管理費	423	402	▲21																																																																																									
給与費	371	359	▲12																																																																																									
経費	52	42	▲10																																																																																									
営業外費用	134	133	▲1																																																																																									
資本支出	6,087	6,744	657																																																																																									
建設改良費	3,841	4,385	544																																																																																									
償還金	924	922	▲2																																																																																									
その他資本支出	1,321	1,436	115																																																																																									
その他の支出	0	4	4																																																																																									
計	31,170	32,015	845																																																																																									
			<p>(注) 各項目の数値は、端数をそれぞれ切り捨てている。そのため、各項目の数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。なお、増減額は表中の決算額－計画額で算出している。</p> <p>○収支計画に対する実績（2022年度） 単位：百万円</p> <table border="1" data-bbox="1176 1093 1769 1428"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>27,747</td> <td>27,357</td> <td>▲390</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>27,549</td> <td>27,086</td> <td>▲463</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>25,072</td> <td>23,880</td> <td>▲1,192</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,631</td> <td>1,674</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>    資産見返負債戻入</td> <td>98</td> <td>114</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>    重症心身障がい児 施設収益</td> <td>176</td> <td>143</td> <td>▲33</td> </tr> <tr> <td>    その他営業収益</td> <td>570</td> <td>1,273</td> <td>703</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>198</td> <td>215</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>82</td> <td>91</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	計画額	決算額	増減	収益の部	27,747	27,357	▲390	営業収益	27,549	27,086	▲463	医業収益	25,072	23,880	▲1,192	運営費負担金収益	1,631	1,674	43	資産見返負債戻入	98	114	16	重症心身障がい児 施設収益	176	143	▲33	その他営業収益	570	1,273	703	営業外収益	198	215	17	運営費負担金収益	82	91	9																																														
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																									
収益の部	27,747	27,357	▲390																																																																																									
営業収益	27,549	27,086	▲463																																																																																									
医業収益	25,072	23,880	▲1,192																																																																																									
運営費負担金収益	1,631	1,674	43																																																																																									
資産見返負債戻入	98	114	16																																																																																									
重症心身障がい児 施設収益	176	143	▲33																																																																																									
その他営業収益	570	1,273	703																																																																																									
営業外収益	198	215	17																																																																																									
運営費負担金収益	82	91	9																																																																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
			その他営業外収益	115	124	9	
			臨時利益	0	54	54	
			費用の部	27,716	27,681	▲35	
			営業費用	25,997	25,859	▲138	
			医業費用	25,144	24,956	▲188	
			給与費	11,820	11,970	150	
			材料費	7,577	7,352	▲225	
			減価償却費	1,702	1,561	▲141	
			経費	3,932	3,955	23	
			研究研修費	112	116	4	
			重症心身障がい児 施設費用	419	471	52	
			給与費	354	392	38	
			材料費	17	16	▲1	
			減価償却費	0	0	0	
			経費	46	62	16	
			研究研修費	0	0	0	
			一般管理費	432	431	▲1	
			給与費	370	376	6	
			減価償却費	15	15	0	
			経費	46	39	▲7	
			営業外費用	1,719	1,767	48	
			臨時損失	0	54	54	
			予備費	0	0	0	
			純利益	31	▲324	▲355	
			目的積立金取崩額	0	0	0	
			総利益	31	▲324	▲355	
			(注) 各項目の数値は、端数をそれぞれ切り捨てている。そのため、各項目の数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。なお、増減額は表中の決算額－計画額で算出している。				
			○資金計画に対する実績（2022年度） 単位：百万円				
			区 分	計画額	決算額	増減	
			資金収入	33,675	35,750	2,075	
			業務活動による収入	27,696	27,124	▲572	

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由
			診療業務による収入	25,283	24,070	▲1,213		
			運営費負担金による収入	1,713	1,770	57		
			その他の業務活動による収入	698	1,283	585		
			投資活動による収入	91	184	93		
			運営費負担金による収入	40	112	72		
			その他の投資活動による収入	50	72	22		
			財務活動による収入	764	2,195	1,431		
			長期借入による収入	240	1,647	1,407		
			その他の財務活動による収入	524	547	23		
			前事業年度からの繰越金	5,123	6,246	1,123		
			資金支出	33,675	35,750	2,075		
			業務活動による支出	25,083	24,975	▲108		
			給与費支出	12,076	12,566	490		
			材料費支出	8,347	8,179	▲168		
			その他の業務活動による支出	4,659	4,229	▲430		
			投資活動による支出	5,163	4,434	▲729		
			有形固定資産の取得による支出	3,841	3,031	▲810		
			その他の投資活動による支出	1,321	1,402	81		
			財務活動による支出	924	922	▲2		
			長期借入金返済による支出	548	547	▲1		
			移行前地方債償還債務の償還による支出	375	375	0		
			その他の財務活動による支出	0	0	0		
			翌事業年度への繰越金	2,505	5,417	2,912		
			(注) 各項目の数値は、端数をそれぞれ切り捨てている。そのため、各項目の数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。なお、増減額は表中の決算額-計画額で算					

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			出している。		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

#### 4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	※ 短期借入金の限度額  1 限度額  2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 10億円  2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	—	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

#### 5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることを見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
ー	なし		・ 該当なし	ー	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
ー	なし		・ 該当なし	ー	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
ー	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	ー	

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療応援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	新病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案し、岐阜県総合医療センターとして担うべき機能の強化が図られるよう、計画的に実施すること。
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
29	※ 職員の勤務環境の向上  1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実  2 働き方改革の実現に向けた取組  3 職員のモチベーション向上に資する取組	2 働き方改革の実現に向けた取組 ・職員の労働時間の適正な把握に向けて、タイムレコーダー（IDカードによる打刻システム）を継続した。 ・医師の労働時間短縮に向け、「医師の働き方改革に関するワーキンググループ」会議における議論を踏まえ業務と自己研さんの区分を策定した。 ・医師の負担軽減に向け、医師と医療支援部門職員との間で可能タスク・シフト（シェア）を推進した。 ・医師の業務負担軽減に必要な特定行為看護師を自前で育成するため、看護師特定行為研修指定研修機関としての役割を果たした。 ・医師の業務負担軽減に向けたタスク・シフトを進めるため、医師事務作業補助者の定着に向けた処遇改善や人員配置のバックアップ体制を整えた。	1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 ・病児・病後児保育については、2012年2月から24時間保育を継続している。また利用者についても、定員を増員したり、利用資格の拡大を実施したことで、多くの職員が活用できている。 ・ハラスメント防止に向けて、2つの院内相談窓口の設置や専用アドレスの運用を継続した。 ・女性職員が働きやすい労働環境への改善に向け、「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」にて、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画及び女性活躍推進法に基づく行動計画の進捗状況を確認した。 ・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、現状把握と縮減に向けた啓発に努めた。 ・看護師のみならず医師やコメディカルについても、変形労働時間制による勤務を採用することにより、時間外勤務時間の縮減に努めた。  ○院内保育所の運営状況（年度末現在） ・入所施設（こばと） 単位：人 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>34</td> <td>44</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>16</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	2020	2021	2022	入所者数	34	44	34	保育士数	16	18	18	IV	医師の働き方改革の推進に加え、職員満足度調査の数値向上に向けた取組等、職員へのきめ細かい対応ができており、項目全体で特に進捗していると評価。
項目／年度	2020	2021	2022														
入所者数	34	44	34														
保育士数	16	18	18														

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
			<p>・病児・病後児保育施設（バンビ） 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>86</td> <td>169</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>保育士・看護師数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○職員1人あたりの休暇、時間外勤務状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年次有給休暇（単位：日/年）</td> <td>10.9</td> <td>12.8</td> <td>14.4</td> </tr> <tr> <td>時間外勤務（単位：時間/月）</td> <td>11.9</td> <td>13.1</td> <td>12.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※夏季休暇等の取得数も含む（2020年度以前）</p> <p>3 職員のモチベーション向上に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人事評価制度により、公平かつ客観的な評価を図り、目標評価における成績優秀者にはその結果を手当に反映した。</li> <li>・職員提案箱を設置し、回収した意見を病院運営に反映した。</li> </ul>	項目/年度	2020	2021	2022	延べ利用者数	86	169	156	保育士・看護師数	3	3	3	項目/年度	2020	2021	2022	年次有給休暇（単位：日/年）	10.9	12.8	14.4	時間外勤務（単位：時間/月）	11.9	13.1	12.7										
項目/年度	2020	2021	2022																																		
延べ利用者数	86	169	156																																		
保育士・看護師数	3	3	3																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																		
年次有給休暇（単位：日/年）	10.9	12.8	14.4																																		
時間外勤務（単位：時間/月）	11.9	13.1	12.7																																		
30	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携		<p>・引き続き、岐阜県立衛生専門学校へ1名の派遣を行った。</p> <p>○職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>(2)</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1(2)</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※（ ）は岐阜県への退職派遣者数《外数》</p> <p>○県及び他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師・助産師</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	2020	2021	2022	看護師	(2)	1	0	コメディカル	1	0	1	合計	1(2)	1	1	項目/年度	2020	2021	2022	看護師・助産師	1	0	0	コメディカル	0	0	0	合計	1	0	0	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	2020	2021	2022																																		
看護師	(2)	1	0																																		
コメディカル	1	0	1																																		
合計	1(2)	1	1																																		
項目/年度	2020	2021	2022																																		
看護師・助産師	1	0	0																																		
コメディカル	0	0	0																																		
合計	1	0	0																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由								
31	※ 施設・医療機器の整備  1 病棟などの施設等の計画的な整備  2 医療機器の計画的な更新・整備		1 病棟などの施設等の計画的な整備 ・放射線治療装置（リニアック）の更新に伴う南棟の整備について、計画どおり着実に工事を進めた。 ・先に策定した設備更新計画に基づき、老朽化した設備の更新を計画的に実施した。  2 医療機器の計画的な更新・整備 ・医療機器について、更新計画の見直しを行い、計画的な整備を実施した。 ・COVID-19の対応に必要な医療機器を迅速に納入した。  ○医療機器・施設整備に関する総投資額 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>投資額</th> <th>財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,647.4 百万円</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>18.9 百万円</td> <td>COVID-19 関連の補助金</td> </tr> </tbody> </table>		投資額	財 源	病院施設、医療機器等整備	1,647.4 百万円	設立団体からの長期借入金等	18.9 百万円	COVID-19 関連の補助金	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
	投資額	財 源											
病院施設、医療機器等整備	1,647.4 百万円	設立団体からの長期借入金等											
	18.9 百万円	COVID-19 関連の補助金											
32	※ 内部統制の充実強化  1 内部統制の取組  2 内部統制に対する監査及び評価  3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化		1 内部統制の取組 ・内部監査やリスク評価等の結果を法人規程、マニュアル、手順書等に適切に反映させ、継続的に見直しを行うことで、内部統制の充実強化を図った。  2 内部統制に対する監査及び評価 ・各部署から洗い出したリスク事象について、リスク回避のための対策を検討した。 ・その内容をリスク管理委員会に報告し、意見交換を行った。  3 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・災害時における初動体制（災害対策本部の立ち上げ等）に	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。								

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																		
			ついで、災害対策マニュアルに基づき、机上により確認した。																																																																				
33	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<p>・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。</p> <p>○債務の償還状況(合計) 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年</td> <td>1,587</td> <td>1,587</td> </tr> <tr> <td>2021年</td> <td>923</td> <td>923</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>922</td> <td>922</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td></td> <td>1,936</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td></td> <td>1,103</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>6,437</td> </tr> <tr> <td>第2期計(参考)</td> <td>6,312</td> <td>6,312</td> </tr> <tr> <td>第1期計(参考)</td> <td>10,826</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;内訳&gt;</p> <p>○移行前地方債償還債務 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年</td> <td>360</td> <td>360</td> </tr> <tr> <td>2021年</td> <td>367</td> <td>367</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>375</td> <td>375</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td></td> <td>382</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td></td> <td>390</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td></td> <td>1,877</td> </tr> <tr> <td>第2期計(参考)</td> <td>2,750</td> <td>2,750</td> </tr> <tr> <td>第1期計(参考)</td> <td>10,826</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table> <p>○長期借入金償還額 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2020年</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> </tr> <tr> <td>2021年</td> <td>555</td> <td>555</td> </tr> <tr> <td>2022年</td> <td>547</td> <td>547</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	2020年	1,587	1,587	2021年	923	923	2022年	922	922	2023年		1,936	2024年		1,103	中期計画期間計		6,437	第2期計(参考)	6,312	6,312	第1期計(参考)	10,826	10,826	年度	実績	計画	2020年	360	360	2021年	367	367	2022年	375	375	2023年		382	2024年		390	中期計画期間計		1,877	第2期計(参考)	2,750	2,750	第1期計(参考)	10,826	10,826	年度	実績	計画	2020年	1,227	1,227	2021年	555	555	2022年	547	547	III	継続的に取組ができているが、平年並みの実績と評価。
年度	実績	計画																																																																					
2020年	1,587	1,587																																																																					
2021年	923	923																																																																					
2022年	922	922																																																																					
2023年		1,936																																																																					
2024年		1,103																																																																					
中期計画期間計		6,437																																																																					
第2期計(参考)	6,312	6,312																																																																					
第1期計(参考)	10,826	10,826																																																																					
年度	実績	計画																																																																					
2020年	360	360																																																																					
2021年	367	367																																																																					
2022年	375	375																																																																					
2023年		382																																																																					
2024年		390																																																																					
中期計画期間計		1,877																																																																					
第2期計(参考)	2,750	2,750																																																																					
第1期計(参考)	10,826	10,826																																																																					
年度	実績	計画																																																																					
2020年	1,227	1,227																																																																					
2021年	555	555																																																																					
2022年	547	547																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	2022年度計画で特に進捗した取組/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
			2023年		1,553		
			2024年		712		
			中期計画期間計		4,596		
			第2期計(参考)	3,562	3,562		

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況